令和7年度　実績団体一覧

NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名
1	池尻こどもマラソン大会実行委員会	37	池ノ上イメージアップ推進協議会	72	おでかけサポーターズ	107	砧南グリーンズ
2	池尻祭輿会	38	池ノ上こどもとまちプロジェクト	73	特定非営利活動法人ら・ら・ら	108	野川ドッグエリアの会
3	NPO法人　花植え隊	39	スマイリーひろば	74	中町4・5丁目町会　防犯部	109	喜多見わんわんパトロール隊
4	三宿小おやじの会	40	世田谷伝統芸能に親しむ会	75	ペット防災せたがやネットワーク	110	[ご当地]家族会
5	三宿町会　三粋会	41	代沢子育ておうえんだん	76	大山みちおこし委員会	111	「ハミガキロック」制作チーム
6	太子堂小学校おやじの会	42	代沢5丁目東町会	77	上用賀一丁目まちづくり協議会	112	砧むらおばちゃん会議
8	なかざとアシスト隊	43	代沢地区町会連合会	78	用賀地区安心・安全推進会	113	特定非営利活動法人煌めく返り花
9	若林クラブ	44	代沢中町会	79	陽杲会	114	ハッピーリーフ
10	若林町会	45	おはなしカラフル	80	アクティブチャイルドクラブふたこ	115	百年桜の会
11	IBASHO	46	下北沢小学校PTA	81	スマイルひろば	116	上北沢小学校おやじの会
12	駒沢給水塔風景資産保存会	47	世田谷代田SAP	82	TAMAGAWA BREW　事務局	117	世田谷区立八幡山小学校おやじの会
13	桜町会	48	代田小おやじの会	83	二子玉川大山みちフェスティバル実行委員会	118	八幡山青年会
14	さくらっこ体験教室事務局	49	代田睦会	84	二子玉川郷土史会	119	親水テラス音楽会実行委員会
15	世田谷区立桜小学校おやじの会	50	東北沢睦会	85	「こどもとわたし」“元気の日”	120	特定非営利活動法人芦花公園花の丘友の会
16	松丘町会	51	NPO法人ジョイントT・M	86	桜新町親和会	121	どんぐりのおうち
17	経堂ｱﾄﾘｴ	52	健康ウェンズデイ運営委員会	87	NPO法人　世田谷スポ・レクネット	122	芦花サポーターズ
18	桜丘1丁目町会レディス会運営委員会	53	松原5・6丁目自治会	88	正しいラジオ体操普及隊	123	烏山上町会
19	桜丘小学校　おやじの会	54	松原三・四丁目自治会	89	東深沢小学校　おやじの会	124	烏山子どもの文化ネットワーク
20	桜丘すこやか体操クラブ	55	世田谷区松原二丁目町会	90	東深沢町会	125	給田小わんわんパトロール
21	市民活動　zutto-koko	56	明大前駅周辺地区街づくり協議会	91	東深沢中学校おやじの会	126	給田町会
22	じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会	57	赤堤1丁目町会	92	深沢・桜新町さくらフォーラム	127	桐の会
23	世田谷区立経堂小学校　おやじの会	58	赤堤に文化を！六所の森の会	93	深沢ぎんなんまつり実行委員会	128	地域のきずな実行委員会
24	世田小地域ネット「いぶき」	59	特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート	94	みしまの森学舎　あいさつ運動推進委員会	129	チーム烏山音楽事業部
25	タウンズエイト	60	奥沢地誌保存会	95	みんなのコミュニティさくら	130	ママ・クルー世田谷
26	特定非営利活動法人せたがや桜丘まちづくり	61	みかも保存会	96	祖師谷子ども健全育成の会	131	**ユニバーサル デザインスタンプラリー 実行委員会**
27	特定非営利活動法人せたがや防災士会	62	ここからカフェ九品仏	97	成城フラワーメイト		
28	宮坂楽々倶楽部	63	子ども会少年団を育てる世田谷センター	98	「子どもぶんか村」発表会実行委員会		
29	世田谷ゴミ拾い研究所	64	玉川田園調布防犯パトロール隊	99	希望丘小学校とと会		
30	繋組	65	特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス	100	デ・バンデス		
31	仲間る会	66	尾山台中学校おやじの会	101	東京テラス防災自治会		
32	上馬東町会	67	尾山台小学校おやじの会	102	バージの会		
33	グループippo	68	玉堤小学校おやじの会	103	船橋会		
34	小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会	69	玉堤小学校PTA	104	船橋小学校オヤジの会		
35	梅丘1丁目町会	70	玉堤小コミュニティー	105	学び場いとをかし		
36	城山小学校オヤジの会	71	等々力小学校おやじの会	106	うなかふぇ		

№1

団体名

池尻こどもマラソン大会実行委員会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

490,131円

事業名称

池尻こどもマラソン大会

内 容

池尻･三宿･多聞小学校の児童または該当校の児童と強いつながりのある小学生を対象に、マラソン大会を実施します。長距離を走ることで、練習も含めて健康を保つ一助となります。また、地元の大人たちの連携の元に開催されることで、大人も子どもも地域の一員としての絆を深めることができます。複数校での開催のため競い合いもできることから、仲間を応援する意識も見られます。まちの中を走ることで地域の方々の応援も得られ、活気ある大会となっています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

近隣3校の児童200人以上が応募し、各自が事前にマラソンの練習を行うなど健康の一助となった。また児童同士が競い合いつつも健闘を称え合う姿がみられた。3校の保護者や地域の大人が連携して大きな大会を開催できたことで大人も子どもも地域での絆を深めることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

町会･自治会の方には事前にマラソン大会の概要を共有したうえで。ご協力をお願いし、当日は交通規制へのご協力や応援へのご参加を頂いた。また、地域活動団体とも連携し子どもたちの思い出作りの活動を協力して担えた。

№2

団体名

池尻祭輿会

補助金使用額

84,400円

補助事業に要した経費

104,400円

事業名称

池尻お囃子こども教室

内 容

地域の祭礼、池尻児童館のがやがや村まつり、池尻小学校70周年行事、青少年池尻地区委員会主催のこども餅つき大会での演奏を行う為に国指定の無形民俗文化財若山社中の先生や自主的な練習をして地域社会の活性化の為に演奏活動をして地域の方が交流できる環境を構築する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

今年度は池尻小学校70周年行事での演奏することができました。また青少年池尻地区委員会主催のこども餅つき大会では会場の来場者にもお囃子の体験をしてもらえた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

池尻稲荷神社の祭礼でもお囃子の子どもたちがの接待を受けた池尻小学校の70周年祝賀会でも子どもたちも先生との交流があり池尻児童館の村まつりでも多くの児童館利用のお子様の応援を受けて演奏活動を行いました。来年もこの関係を維持したい。

№3

団体名

NPO法人　花植え隊

補助金使用額

174,679円

補助事業に要した経費

299,479円

事業名称

高齢者が生き生き暮らせるまちづくり

内 容

花の植栽とその維持･管理･水やりの作業を、当該高齢者施設の利用者、スタッフ、周辺住民、通所者、町会･高齢者クラブ、保育園･幼稚園の園児や学校の生徒、PTA、その他の市民団体など多くの人々と共同で行うことにより、地域と交流を図り、暖かな繋がりを求めていく。ニューズレター、チラシ等の発行、自治会掲示板での活動の案内を通じてこの活動の周知を広げると同時に、その拡大を目指す。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

･前年度に引き続き四か所の高齢施設の敷地内に　御利用者やスタッフ、他のボランティア団体の協力を得ながら、年二回の花を植え、週1回の訪問による花の管理を実施した。年間を通じて花のある環境を提供、維持し、同時に、施設の御利用者やスタッフ、周辺住民との交流を通じて、こうした人々との繋がりを深める事を目指した。･二回のニューズレターは発行し、本活動の周知に努めた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

C

その理由

連携団体の事業でチラシやニューズレターを配布したり、植栽時の協力を得たりしたが、その後の花の維持管理、日常的･持続的な活動の連携までに至らなかった。

№4

団体名

三宿小おやじの会

補助金使用額

193,748円

補助事業に要した経費

193,748円

事業名称

地域の子供、住民が愛着を持てる街作りに貢献する

内 容

三宿小学校に在学あるいは在学していた子供の父親を中心に活動しています。今年度は年間を通じて活動を予定しています。小学校関連では、運動会や学校内の行事の際には、パトロール・後片付けなどの手伝いを予定しています。8月に世田谷区が主催する「アドベンチャーイン多摩川」では参加者といかだ作りを行い、実施日には、参加者を引率します。他に、児童館が主催する行事にも携わり、年間を通じて多くのイベントに関係することで、日頃から声を掛け合えるネットワークを構築していきます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

アドベンチャーイン多摩川では、3艇出場、1艇はラッキー賞をいただくことができ、参加した子ども全員が大変喜んでいました。三宿小学校花火大会では地元の方にも参加いただき、大いに盛り上がりました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

学校行事や地域行事に積極的に関わることができ、学校や地域と連携が深まりました。例年通りの活動で多くの子供が喜んでいただけた。他、地域の方とも親交が図られた。

№5

団体名

三宿町会　三粋会

補助金使用額

234,500円

補助事業に要した経費

234,500円

事業名称

地域と人が繋がる継承と発展 「温故知新」

内 容

11月ギンナン体験会は、近隣住民の皆様と三宿神社のギンナンを拾って、食べるまでの処理を行います。参加者、スタッフが協力しながら進めることで、深いコミュニケーションに発展することを期待します。

6月と11月に三宿神社にて、地域の方々にフリーマーケットに出店して頂き、顔見知りになるきっかけとなる機会となることを望んでいます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

減少傾向にある町会恒例行事に、少しずつではあるが新しい参加者が増え、コロナ禍以前の活動も取り戻せたと実感している

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

計画していたイベントが恒例化してきたため、円滑に協力や連携は出来たと評価しました。

№6

団体名

太子堂小学校おやじの会

補助金使用額

88,238円

補助事業に要した経費

94,198円

事業名称

地域と子どもと保護者を繋ぎ、心がふれあう太子堂の街づくりへ！

内 容

太子堂小学校児童の保護者が中心となり、学校や地域と連携を深め、子どもと地域の安全に寄与する活動、子どもと保護者・地域の方々の交流のきっかけとなるイベントの開催を行う。

・児童下校時、放課後時間帯のパトロール、交通安全活動（月1回程度開催）

・太子堂地区の子どもたちと保護者・地域の方々も参加できるイベントの企画・運営①9月のイベントは、太子堂小学校の子どもたちを含む、地域の子ども、大人が参加できる水てっぽうフェスを予定。暑い夏に、地域・保護者そして子どもを通じた懇親・交流を目的とする。②12月のイベントはこちらも子どもたちや地域の未就学児を対象とした謎解きイベントを体育館で開催。ミッションを与えて謎解きをしながら学校から脱出するイベント。③今年度は3月に地域の老若男女に参加いただける花火大会の開催を企画中。

・青少年太子堂地区委員会主催のふれあい祭りでの出店（でみせ）出店、子どもマラソンでの伴走など、地域行事への参加とサポート

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

予定した行事は全て開催でき、地域の子どもたち、保護者、住民の方々に参加いただける行事となったから。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

太子堂まちづくりセンター主催の行事、太子堂ふれあい祭り、太子堂こどもマラソン双方において、太子堂小学校おやじの会として協力することができたこと。

№8

団体名

なかざとアシスト隊

補助金使用額

228,658円

補助事業に要した経費

228,658円

事業名称

世代を超えて体験･感動･学びを共有する化学反応プロジェクト

内 容

①給食配膳支援：先生以外の第3の大人（地域のおとな）の存在の周知②手話講演／体験会：実際に地域の方にご指南いただき様々な伝え方をかんじられた③NAKAZATO HIバッジ ：共有の認識として地域の絆のアイコンとなっている④中里おはなし会：地域の方々の読み聞かせ参加が増え、チームとして育ってきた⑤地域の方々の作品展：地域の大人たちと子どもたちとの交流コラボの場となる⑥卒業生による講話：卒業生も地域の大人として活躍、地元に還元できる場となる

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

①給食配膳支援：先生以外の第3の大人（地域のおとな）の存在の周知②手話講演／体験会：実際に地域の方にご指南いただき様々な伝え方を感じられた③NAKAZAHIバッジ：共有の認識として地域の絆のアイコンとなている④中里おはなし会：地域の方々の読み聞かせ参加が増え、チームとしてそだってきた⑤地域の方々の作品展：地域の大人たちと子どもたちとの交流コラボの場となる⑥卒業生による講話：卒業生も地域の大人として活躍、地元に還元できる場となる

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

いままではお願いして活動してもらっていたが、だんだん自ら自覚を持って参加してくれる層が育ってきた。

№9

団体名

若林クラブ

補助金使用額

140,250円

補助事業に要した経費

231,031円

事業名称

第 10 回若林クラブフェスティバル（若フェス）

内 容

年間を通じて、若林クラブに所属するチームが、地域のPTA、町会、商店会、児童館、敬老会（トル）、青少年地区委員会のイベントにボランティアスタッフとして協力応援をする。反対に、若林クラブに所属するチームの大会・イベントを上記団体に呼びかけ、応援を依頼する。若林クラブ内チーム間、地域の組織との情報連携を強化し、お互いの大会・イベントを共有し、応援し合う環境を構築し、交流する。フェスティバル当日は関係する地域の団体、若林クラブに所属するチームが一堂に会し、互いの活動を紹介し合うこと、お互いの活動を体験し合うことで、より一層理解を深め、絆を深める。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

今回、フェスティバル当日だけではなく当日に至るまでクラブ内の各チームに呼びかけ、互いの活動を共有し、大会等は互いに応援しあい交流を深めた上で、フェスティバル当日を迎えることができた。フェスティバルの企画に同じ地域で活動している、国士館大学様、スフィーダ世田谷様にご協力いただき、AEDの体験教室、サッカー教室を開催し、地域の連携が深まった。副区長様をはじめ来賓の方々、地域サポーターの皆様にも多数ご来場いただき、日ごろの感謝を伝え、若林クラブの活動を知っていただくことができた。こどもから大人まで地域の方々210名ほどに参加いただくことができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

町会や学校、その他の団体との協力関係は友好であり、今回の若林フェスティバルも含めてお互いのイベントや行事などでの情報共有などの連携はできていた。他団体の予定より若林フェスティバルの予定を優先してくださったおかげで、多くのご来場をいただけた。各団体で告知をしていただき集客にご協力いただいた。

№10

団体名

若林町会

補助金使用額

35,328円

補助事業に要した経費

127,528円

事業名称

人と人との繋がり･絆を結び地域力を増す地域の絆連携強化事業

内 容

若林地域と周辺近隣と連携･交流･共助する“ネットワーク防災”活動をする。防災情報などの発信と啓発を進め、地域防災力、対災力をさらに強化する。令和8年3月に若林公園で世田谷消防署と防災の専門家と連携し防災知識、技術の学びと救出救助の学習･演習の場を提携する。

令和8年1月に国士舘大学と連携し若林小学校にて授業時間の一部を活用して子どもが自分たちの手で命を守る能力を高めるための防災講座を実施する。この企画は若林町会が企画し若小に提案、実現、今日に至る。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

経験豊かな講師に恵まれ参加者も満足して終了、広報もホームページをはじめチラシ回覧、口コミによる宣伝も成功、予想した程度の成果が得られた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

日頃からの近隣地域の町会などと、様々なつながり交流を持ってきていることにより、ネットワーク防災への発展していく要素がましてきていると感じています.

№11 **団体名** IBASHO	**事業名称** 子どもの声ネットワーク
補助金使用額 224,700円	**内 容** ①もちよりおしゃべりごはん会 持ち寄ったごはんを食べながらおしゃべりする場を開くことで、ざっくばらんな交流や、今の地域 課題の発見・共有、新しい活動の芽吹きを誘発し続ける。 ②松陰神社通りのみちあそび 松陰神社通りでみちあそびを実施し、子どもの声を聴き、表現の場をつくり、防災教室で消火訓 練・炊き出し等を行う。 ③防災デイキャンプ 弦巻小校庭で地域の防災教室を行う。 ④ふりかえりワークショップ 今年度聴こえてきた声をふりかえり共有する。
補助事業に要した経費 226,360円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	**その理由** 継続して取り組みを行ったことで、 次世代の当事者とのつながりが広がった共感する仲間が増えた

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	毎年の活動のなかで、地域の方と顔の見える関係性が深まってきている

№12

団体名

駒沢給水塔風景資産保存会

事業名称

駒沢給水塔を中核とする水道近代土木遺産と風景資産の保存活用

内 容

地域のイベント参加や年4回の新聞発行などを通じ、駒沢給水塔の歴史を周知するとともにその周辺環境を未来へ引き継いでいくことを啓蒙する。近隣小学校の児童への給水所構内見学は、東京都水道局のご協力の下で開催。保存会は担当教職員との事前打ち合わせや学習資料の配布を行い、水道と身近な風景の関わりを学ぶことでより深い愛着を育むことに繋げる。また、現在も応急給水拠点である駒沢給水所での訓練においては、地元住民の参加協力を促し、様々な角度からの給水塔の存在意義を広く理解してもらう機会とする。有形登録文化財の認定を視野に、講演会やスタディツアーなどの企画も計画している。

補助金使用額

137,625円

補助事業に要した経費

146,695円

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

・近隣小学校4校の構内見学／各校ならびに水道局との調整を行ない実施。

・「さくらまつり」「小泉公園フェスタ」「ぎんなんまつり」「せたがやボロ市」での周知活動。

・「連続セミナー」は駒澤大学のご協力を得て新たなスタイルで開催。

・「水道みちウォーキング」を催行。 近隣小学校の構内見学はじめ主催イベントや地元イベントへの参加を通じ、駒沢給水塔の歴史や風景資産としての意義、会の活動についても広く周知することができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	近隣小学校の構内見学はじめ主催イベントや 地元イベントへの参加を通じ、駒沢給水塔の歴史や 風景資産としての意義、会の活動についても広く周知することができた。

№13

団体名

桜町会

補助金使用額

193,930円

補助事業に要した経費

203,080円

事業名称

人と人が出会い、つながり、地域のコミュニティの活性化を目指す

内 容

①背骨コンディショニング：腰痛、坐骨神経痛、ヘルニア等でお困りの方、運動で治します。参加費無料20名

②トールペイント：トートバッグの絵付けやLEDランタン等の自作を致します。参加費￥1,000～（教材費により異なります）15名

③整体ヨガ：運動不足で足腰が弱っている方、体調がすぐれない方、ヨガマットはこちらで準備いたしますので、ヨガが出来る服装で来場ください。整体を取り入れたヨガの講習会を実施します。参加費無料20名

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

7月19日（土）開催「 背骨コンディショニング」：高齢者に多い腰痛やヘルニア等でお困りの方を対象に外出不足解消と運動を通じた地域の住民の交流を目的とした「背骨コンディショニング」を実施。町会員以外の方も含め14名が参加いただき、昨年に引き続き参加してくれた方も多数おり、「自分の身体は自分で治す」をコンセプトに背骨周りの筋力を高める運動を行い、運動不足の解消や参加者同士交流を行うことができました。なお現在も月2回開催しています。

10月25日（土）開催「トールペイント」ヨーロッパで古くから伝わる伝統工芸の絵付けを通じて、地域の方々と交流を図ることを目的とした「トールペイント」を実施。今回はクリスマスリースへの絵付けを行った。当日は悪天候の影響もあり、5名の当日キャンセルが発生」9名の参加者となってしまいましたが絵付け体験終了後、茶話会で皆さんと交流を深めることができました。

11月15日（土）開催「整体ヨガ」運動不足や体の不調を唱える方を対象に運動のきっかけや参加者同士の交流を図るため「整体ヨガ」を実施。町会員以外も含め22名に参加いただきました。高齢者の参加者が多く、椅子に座っての体験を行うとともに特集として白内障予防などの整体も取り入れるなど工夫を凝らし運動不足の解消や参加者同士の交流を深めることができました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	各団体が掲示板への提示などの広報活動にご協力いただいた結果、多くの方からご連絡をいただいたため。

№14

団体名

さくらっ子体験教室事務局

補助金使用額

28,972円

補助事業に要した経費

28,972円

事業名称

さくらっ子体験教室

内 容

今年度は、「発見　みつける」をテーマに桜小学校児童に対して活動します。

1回目は日本の伝統文化である「藍染」を子どもたちに体験してもらうことで、伝統的な文化の理解を深め、日常にあるビー玉やペットボトルのキャップ、輪ゴムなどを使って美しい模様ができるという発見で、想像力や表現力を育むことを目的としています。2回目は万華鏡を作り、そこに映し出される自分だけのオリジナルの模様の美しさを体験します。お手紙教室では実際に大切な方への年賀状を作成し送ることで人と人とのつながりを体験します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

昨年度　参加の告知方法を小学校のメール配信で行っていることで児童まで伝わってなかったことがわかり、紙での告知を復活させたところ参加者が増加しました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

各ワークショップでスタッフとして参加していただいた時、子どもたちにゆっくりと言葉を選びながら語りかけるなど、寄り添った対応をしてくださる点。

№15

団体名

世田谷区立桜小学校　おやじの会

補助金使用額

95,171円

補助事業に要した経費

887,357円

事業名称

世田谷･桜　子どもたちと学校地域の連携事業

内 容

桜小学校の在校生保護者を中心に、学校･町会･地域団体と連携し、児童の登校時の立哨やパトロール、交通安全活動、学校行事での安全確保、地域行事への協力、災害時の避難所運営訓練などを行います。また、地域住民や児童の兄弟も参加可能な交流イベントを開催し、世代を超えた地域のつながりを育みます。さらに、昔ながらの伝統行事を地域ぐるみで継承･体験する機会を設け、地域文化の維持と共有にも努めます。これらの取り組みを通じて、安全･安心で活気ある地域づくりを推進します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

一部の取り組みについて内容変更や一部中止はあったが、年間を通じて地域児童を対象とした体験活動や交流イベントをほぼ計画通りに実施することができた。学校ＰＴＡの他、地域住民や町会･商店街との協力体制も構築され、児童と地域コミュニティとの交流が深まった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

購入品目の選定や物品の貸与、行事の告知や運営協力など、さまざまな面で支援を受けることができた。イベントの告知については掲示等を活用させていただき、近隣住民への周知が効果的に行えた。

№16

団体名

松丘町会

補助金使用額

67,660円

補助事業に要した経費

104,902円

事業名称

地域コミュニティ活性化事業

内 容

①子どもからお年寄りまで世代を超えて共に楽しみ健康維持していけるイベントとして、桜小学校遊び場開放運営委員会との共催で「もルック大会」を開催する。

②地域の子どもたちが松丘町会エリアを歩きながら多くの人と出会い、災害時に一時避難させてもらえる事業所や施設を知ってもらえるよう「子どもスタンプラリー」を開催する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

昨年同様の協力を得てスムーズに活動することができた。参加者は昨年に比べて少なったが、地域住民の交流の良い機会となった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

昨年と同様に快く協力してもらえ、スムーズに活動することができた。

№17

団体名

経堂アトリエ

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

264,156円

事業名称

ご近所大学経堂キャンパス

内 容

誰もが先生・生徒となり、ご近所のように気軽に参加できる場として「ご近所大学経堂キャンパス」を掲げ、セミナー、ワークショップ、交流会等を通して地域のヒト、モノ、コト、イキモノの資源活用、魅力アップを図ります。民家を活用した暮らしの空間で、茶道教室、ウクレレ教室、英会話教室、ステンドグラスワークショップ、絵画教室、料理教室、音楽会、自主映画上映会、絵画展覧会等を行い、春夏秋冬の季節のフェスタでは各教室の面々が一堂に会し、より交流を深めていきます。年度末には活動を記録した小冊子を作成します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

ご近所大学経堂キャンパスとしての日常の活動と、お互いの交流をする春夏秋冬の季節のフェスタを予定通り開催することができた。当初に想定していた参加者以外の方も新たに参加いただくことができました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域の方々とご近所大学経堂キャンパスの先生や生徒になっていただくことができました。

№18

団体名

桜丘1丁目町会レディス会運営委員会

補助金使用額

94,362円

補助事業に要した経費

95,086円

事業名称

安心して暮らせるまちを目指して、顔見知りを増やそう

内 容

桜丘1丁目とその周辺の主に高齢女性を招待し、前半1時間は講演会、講習会として情報や知識を得られるよう参加型活動を毎回企画して孤立する住民がいなくなることを目指す。後半1時間は健康維持増進のための講話、体操、歌、相談、そしてグループに分かれての茶話会で住民相互の交流を楽しむ。茶話会の茶菓子は桜丘1丁目町会の負担。そして世田谷警察のふれあいポリス古田さん、町会役員、桜丘小学校PTAの方々から地域の最新情報を聞いて社会との繋がりを実感できるようにしている。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

絆補助金のおかげで質の高い講師に依頼することができ、参加者の満足度があがり、参加人数が増えてきた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　桜丘町会の催しを会長が来て参加者を募った。　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

他町会(桜丘町会)のスマホ教室に
参加者が訪れ協力できた。桜丘１丁目町会
･世田谷警察･デイホーム桜丘の方々
に毎回情報いただき安心である。

№20

団体名

桜丘すこやか体操クラブ

補助金使用額

93,817円

補助事業に要した経費

93,817円

事業名称

安らぎの調べ～「チェロとピアノ」

内 容

プロの音楽家とその指導を受けた若手演奏家が作り出す楽しい音楽と、演奏終了後の演奏家と地域住民との話し合いの交流会を行います。

交流会では、音楽の話題に加え、孤独な高齢者がこの音楽会で得ている安らぎ・地域住民の相互の出会いと仲間づくり等についても話題になります。

また、この音楽会が桜丘中等の卒業生である若手音大生の発表の場となり、それを応援することでお互いの輪が広がっています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

安らぎと絆につながるような演奏会によるよう心がけていますが、今回の交流会では聴衆の演奏曲への新たな反応があり、この音楽会の意義を再認識させられました。多くの方に知ってほしいと思いました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

町会、経堂あんすこセンター、経堂社協、諸団体との連携はある程度できました。

№21

団体名

市民活動団体　ZUTTO-KOKO

補助金使用額

169,216円

補助事業に要した経費

419,679円

事業名称

子供から認知症の高齢者まで、誰もが暮らしやすい地域づくり。

内 容

・コミュニティカフェ（多世代交流の場）、ケアラーズカフェ（介護家族支援の場）、認知症カフェ（認知症当事者と家族の支援及び地域住民、専門職との交流の場）
・講演会、講座、勉強会の開催。
・児童館とのコラボ企画（子供祭りへの協力）、図書館とのコラボ企画（アルツハイマー月間での特設展示）
・認知症アクションチームとの連携事業（まちづくりフェスタ（仮題））の開催。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

子供、子育て世代から高齢者（認知症の人も含む）まで、多世代共生の地域づくりへの足ががりができたこと。認知症への理解を広める活動ができたこと。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域住民が認知症について正しく知る機会を提供できたこと。多世代が交流を図ることで、子供から認知症高齢者まで、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指す環境づくりへの足掛かりができたこと。

№22 **団体名** じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会	**事業名称** じゅんかんチャレンジ
補助金使用額 225,700円	**内 容** ・「じゅんかんフォーラム2025」の開催：東京農業大学で循環型社会を目指す団体を対象に開催。 ・「じゅんかん料理教室」の開催：桜丘小学校において生ごみ肥料「みどりくん」を使って育てられた野菜を材料に地域住民対象に実施。 ・「じゅんかん経堂日曜朝市」の開催：経堂農大通り商店街、経堂一丁目町会協力により烏山川緑道公園において「みどりくん」野菜の販売を実施。地産地消。 ・「環境・食育授業」の実施：東京農業大学後藤名誉教授・農大学生・生産者等の協力により桜丘小学校で土と農業、食育、環境をテーマに授業を実施。 ・情報誌「じゅんかんニュース」の発行
補助事業に要した経費 225,700円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	**その理由** 計画していた事業に関してすべて実行することができた。フォーラムに関しては多方面からの参加を見ることができたと共に、桜丘小学校での料理教室では多くの近隣住民の参加があった。生産者との連携による朝市も例年通り通りの成果を上げることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	桜丘小学校及び東京農業大学、農大通り商店街など、施設の利用や朝市への協力などを通して連携を深めることができた。また、各町会においてはチラシの掲示などでの協力を得ることができたことがスムースな運営につながった。

№23

団体名

世田谷区立経堂小学校　おやじの会

補助金使用額

212,848円

補助事業に要した経費

212,848円

事業名称

地域児童の豊かな精神育成と地域コミュニティとの更なる関係構築

内 容

世田谷区立経堂小学校（以下、経堂小）、経堂小PTA、地域町会、地域商店街、まちあそびの会と連携し、目標1回/月のイベントを企画。生き物にふれ、育て、命をいただく「どじょうつかみ取り」、清掃前の小学校プールからヤゴを救出する「ヤゴ救出大作戦」、季節感のある「盆踊り」、「ウォーターサバゲ」、「花火大会」、「ハロウィーン」、「クリスマス会」、「餅つき」、「そつはな（卒業花火）」などを行う。また、地域児童に非日常の体験を提供できるような事業や学校教育の補完となるような事業を行う。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

地域児童を対象とした体験活動や交流イベントを計画通りに実施することができた。地域住民や町会・商店街との協力体制も構築され、児童と地域コミュニティとの交流が深まった。これにより、児童の精神的な成長だけでなく、地域とのつながりも強化され、事業の目的を達成することができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

町会や他の団体と連携を図り、行事の告知や運営協力、当日の見守りなど、多方面から支援を受けることができた。イベントの告知については町会の掲示等を活用することができ、近隣住民への周知が効果的に行えた。

№24

団体名

世田小地域ネット「いぶき」

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

297,170円

事業名称

つなげよう地域と世田小

内 容

町会、PTAと協力し防犯パトロールの実施（毎月）
学校外周フェンスを利用して交通安全運動、防災訓練、犯罪ゼロの日、地域行事、町会行事（古着、古布回収、フードドライブ等）、いよよ食堂（子ども食堂）の広報
世田谷小学校年賀状展を実施し災害時避難所としての認知を広げる。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

発足20周年を記念して子供向け映画会の他、翌日大人向けの寅さん映画を上映した。以外に観覧者集まらず、寅さん自体を知らない世代が増えたこと、映画そのものが自宅で見られる環境が整ったことや著作権の問題で大々的な広報が出来ないことが原因か？昨今の働き方改革の影響や PTAの保護者の共働きで時間的な余裕のないことで積極的にボランティア活動に参加しなくなる傾向が広がった様に思われる。町会の役員の高齢化も事業の縮小に向かう要因と思われる。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

例年実施していた、雪の滑り台が大人の監視員が確保出来ないという理由で中止になった。しかし新たに上町児童館のイベントに協力出来たことは今後の協力体制が構築出来て良かった。

№25

団体名

タウンズエイト

補助金使用額

122,520円

補助事業に要した経費

122,520円

事業名称

経堂･宮坂･桜丘スタンプラリー

内 容

経堂まちづくりセンター管内各町会の集合地点からスタートし、8つの町会内の設けられた12～13か所のスタンプポイントを巡り、馬事公苑前のけやき広場をゴールとする「スタンプラリー」を実施します。参加者は8町会内在住者を対象としており、回覧や掲示などによって出来るだけ多くの住民の参加を促します。スタート地点及びスタンプポイント、ゴール地点は各町会の役員及び有志が対応。イベント開催に当たっては経堂地区に拠点を置く団体、企業の協力を仰ぎ、提供された物品などは参加賞として参加者全員に配布します。雨天による中止を防ぐために予備日を設定。確実な実施を目指します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

寒さと言うこともあり想定より参加人数は少なかったものの、100名近くの参加者を見ることが出来た。中でもリピーターが多く、全てのポイントを回ることを目指す人たちの多いことにも気づかされたことから、天候には左右されるものの8町会横断のイベントとして知名度が高まったことを実感できた。また例年のように各町会の協力も得ることができ、町会間の交流機会としても意義のあるイベントとなったと思われる。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

協賛企業、団体の数は例年と変わらなかったが、スタンプポイントでの各町会の協力も例年通りに得ることができた。

№26

団体名

特定非営利活動法人世田谷桜丘まちづくり

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

452,919円

事業名称

桜丘を故郷とする子どものための絵本づくり

内 容

1. 各地域団体で活動している人たちと、話し合いを重ね、子どもたちに伝える項目の洗い出しと、絵本の物語のあらすじや登場人物など、キャラクターのイメージ作りなどを検討する。
2. あらすじがまとまれば、場面構成の絵コンテを作成し、セリフや説明書きをまとめる作業をする。
3. あらすじに沿って絵を作成し、全体を絵本としてまとめる。
4. 印刷にかける準備をする。
5. 出来上がった絵本を、小学校や幼稚園、保育園、図書館などに配布する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

小学校の子どもたちに、絵本のタイトルなどを募集することで、子どもたちにも関心を持ってもらった。作成途中案を区民センター祭りに展示することができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　町会の掲示板に、募集及び結果報告の掲示を行った。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

地域の幼稚園、保育園、小学校に配布したところ、非常に評判が良かった。町会には問い合わせがあったので、回覧場で周知することになった。NPO 事務所にもわざわざ配布してほしいという親子連れもあり、増刷するほどである。

№27 **団体名** 特定非営利活動法人せたがや防災士会	**事業名称** 地域の防災力と、知識･技術の向上を目指した学習会等の開催
補助金使用額 165,472円	**内 容** ①防災講演会1.6月1日「防災と能登」能登地震がおきた時、初動対応を含め、どのように行動したかの体験談を聞き、自身の防災意識を見直す ②防災講演会2.9月23日「防災と救護」災害時、通常の状況でない中でおこなえる救護を学ぶ、救急救命講座 ③防災講演会3.令和8年1月頃「防災と在宅避難」災害時に在宅避難が可能になるように、家屋倒壊が起き難くするなど、視点を変えて、平時からおこなえる対処対応法を学ぶ。 ④防災イベント1.令和8年3月頃「防災施設見学会」において災害について学び、防災に役立てる。 以上、すべて、地域防災･避難所運営に関わる方、および地域住民と一緒に学び災害に備える。
補助事業に要した経費 174,112円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	**その理由** 今年度は例年以上に地域と連携を意識して実施した。その結果町会等との関係も強くなり、また潜在している地域の防災士の発掘にもつながった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	各々の町会･団体等での繋がり、連携を課題としているが、さらに関係を構築していくためには時間をかけて取り組む必要がある。今後も引き続き、地域防災力の向上を目指して活動をしていきたい。

№28

団体名

宮坂楽々倶楽部

補助金使用額

121,560円

補助事業に要した経費

131,105円

事業名称

健康と安全安心講座

内 容

健康と安全安心できる街づくりのため、下記の5回を計画しています。①現役の警察官とスマホの専門家による、特殊詐欺被害に遭わないように。②「脳トレ教室」のベテランによる脳の活性化を促し、認知症の防止に役立つように。③温泉の分析の専門家による、温泉地の特徴の紹介などにより、高齢者の外出を促す。④お笑いを主とした落語や大道芸により心身ともに活力が出るように。⑤「人生100年時代の生き方」について在宅医療の専門家により終活、日常生活に役立つ話により、高齢者が少しでも安心して生活ができるように。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

経堂駅を中心とした町会の掲示板（5町会）、経堂図書館をはじめ、チラシ配架が9か所と多くなってきたが、天気が悪い時があり参加者が少ない時があった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

毎回顔なじみのかたに参加いただけるようなり、街中でお会いした時にも自然と挨拶ができるようになった。

№29

団体名

世田谷ゴミ拾い研究所

補助金使用額

195,929円

補助事業に要した経費

197,669円

事業名称

地域の清掃事業、小学校での出前授業、環境イベントへの参加

内 容

・町内、公園の清掃活動を月に1回程度行う。

・小学校4～5年生向けのゴミ問題をはじめとした、地球温暖化への取り組みについて出前授業を行う。

・せたがや環境フェスタへの参加、主催のイベントを企画し、地域の皆さんにゴミ問題をはじめ環境問題について周知し、広める。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

出前事業が予想していたほど申し込みがなく、予定していた数を行うことができなかったが、行うことが出来た1回で児童と環境問題を考え、意見を交わす機会を得ることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。

☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

小学校での出前授業やワークショップを通して、児童や保護者の方々がゴミを減らすこと、正しく分別することに興味を持ってくれた。

№30

団体名

繋組

事業名称

地域と子供たちの未来を繋ぐプロジェクト 2025

内 容

駒繋小学校の在校生・卒業生の父親が中心となり、地域の方・学校教職員もメンバーとして活動している駒繋小学校おやじの会「繋組（つなぐみ）」による、子どもの健やかな成長と地域の健全な発展をめざす年間事業です。

・地域行事・避難訓練の運営・参加協力を通じた地域との交流（スタンドパイプ設置訓練）

・地域と学校の子ども・保護者を繋ぐワークショップ等の開催

・町内会の協力をうけながら子どもたちとのイベント、学校へのお泊り体験、やきいも提供など

・スポーツ活動を主催し、会員に留まらず地域の方の参加を広く募り活動（昨年度実績：会員以外の参加者約20名）、またオール世田谷おやじの会・世田谷区小学校PTAや他校団体との交流

・活動計画検討にかかる会館使用、活動案内・報告にかかる広報誌作成・報告会の開催など

補助金使用額

149,374円

補助事業に要した経費

222,977円

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

駒繋小学校・PTA・他小学校・オール世田谷おやじの会・下馬一丁目町会・駒繋神社・地域の方々などと連携し年間90回の活動を行い述べ2067名の方にご参加頂くことで下馬地区において地域の大人・子どもたちの体験機会創出・地域交流の活性化・生活環境の向上・防犯防火活動に貢献することができた。主な活動・駒繋小学校との連携　入学式・運動会・駒繋フェスタなど学校行事の運営支援を実施した。また定期的にあいさつ見守り運動を行い特に通学路上で危険の高いエリアの防犯・安全強化に貢献した。・子供たちが健やかに好奇心旺盛に育つための糧となる体験イベントを数多く主催し子供たちと地域の皆さんとの交流の機会を創出した。・食育イベントおさかな先生：おさかな先生招いて「命をいただく」体験を通し、食材（＝命）に感謝する心を育てる体験イベントを実施。・地域との連携　年間を通じて駒繋神社でのパトロール・ゴミ拾いやあいさつ見守り運動などで地域の方と連携し、関係者間での交流を図ることが出来た。また各種イベント・行事に積極的に参加し地域活動の活性化に尽力した。・アドベンチャーIN多摩川いかだ下り大会：区教育委員会主催のいかだ下りイベントに2艇が参加。・三茶夏祭り：地域の方々とチームを組み、地域のお祭りの綱引き大会への参加。・野沢稲荷神社：御神輿担ぎに参加。・野沢児童館　えんにち：運営支援を実施。・駒繋神社　防犯パトロール：お祭り当日に見守りパトロールとゴミ拾いを実施。・フットサル/ソフトボール部：校庭での練習・オール世田谷おやじの会主催大会への参加・世田谷区内他小学校と練習試合の主催を通じて、地域間の絆強化を行った。両部は駒繋小保護者に留まらず地域一般の方を含め参加を募り、一般参加者も活動に加わって頂いている。募集については町会や近隣店舗へのチラシを掲示・配布頂くことにより活動周知を頂いている。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	事業評価に記載した通り、多くのイベントに相互に参加し、関係構築することができた為

№31

団体名

仲間る会

補助金使用額

95,718円

補助事業に要した経費

95,718円

事業名称

中丸小学校を中心として、地域全体の連携を目指す交流事業

内 容

中丸小学校在校生の父兄が中心となり、中丸小学校やなかまるPTA,各町会等と連携して児童の健全な育成と地域相互の連携を図る年間事業です。登校時における、あいさつ運動により児童や地域住民との交流を図り、PTA、児童館等が主催するイベントへの協力、運動会等学校イベントへの協力、防災訓練など町会等が主催する行事への参加により、各コミュニティとの連携を目指します。また、オール世田谷おやじの会、近隣小学校おやじの会との交流や懇親会の参加など。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

C

その理由

逃走中イベントは計画通りに遂行することができたが、花火イベントは雨天のため中止となってしまった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　　町会関係者にチラシを配布し、町会全体に周知してた。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

野沢三丁目町会とは花火大会や逃走中イベントに協力してもらった。下馬町会は神輿渡御に協力した。各おやじの会とは、野沢児童館えんにちイベントで協力して出店した。

№32

団体名

上馬東町会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

255,426円

事業名称

第11回上馬公園自然と親しむ体験フェスタ

内 容

2014年(平成26年)度、町会主催の子ども対象新規事業として実施し今回で第11回目を迎えた。上馬公園の柿の木を使った柿もぎ体験、皮むき競争、渋柿甘柿の違い体験、在宅栄養士会による柿レシピは毎回発行しており毎号保管し料理をしているとの声も寄せられている。さらに、昔遊びなど、今の大人たちが子どもの頃体験したことを地域の子どもたちが体験する場をつくり、伝えたい。併せて、災害時に助け合える関係作りをすべき、行政(世田谷警察署、世田谷消防署、上馬まちづくりセンター)や電力、ガスのインフラ事業会社に参加して頂き災害時における展示説明をしてもらう。世田谷警察署は身近な防犯活動と広報。消防署・消防団と連携した町かど防災コーナー、初期消火訓練には毎回体験参加人数100名余が参加、今年も実施する予定。また、近隣小中学校PTA、中里商店街の協力を得て模擬店を出店し楽しい場づくりをする。防災関連事業会社との災害時におけるWC対策コーナーも設ける。『野良猫対策委員会』(それぞれ絆事業団体)の協力を得ると共に連携する。ハロウィンの時期に重なるので役員が仮装し、来場者に楽しんでもらう。今年は更に充実させる予定。第一回開催から好評だった川場村産直販売コーナー、回収業者と連携した古着等の回収(上馬東町会中里会館では通年で受け付け)も定着しており、今回も実施する。2018年から女性部によるバザーも行った。コロナ禍では未開催、2019年までは1000名をこえる参加者がありました。2023年の申請時にコロナウイルスも一定程度減り実施。500余名の参加であった。今回も、開催時間は10:00～15:00の短時間であるが全力を尽くしたい。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

雨天にかかわらず342名(快晴時三分の一程度)の参加者であった。若い親子の参加が昨年より多く子供は野沢児童館＋子供遊び＋柿皮むき初体験＋ハローウイン着せ替え＋俳句等々、親はリサイクルコーナーで選び放題で気分転換を図るなど、家族での交流が促進された。接する機会の少ない防災・安全に関する情報を身近に感じられる場となり、災害時WCコーナーでは防災グッズが完売するなど防災意識の向上とともに地域課題を共有する場となった。区栄養士会の柿レシピは毎回新紹介でレパートリーを広げる企画は好評。川場村の野菜直販は列をなしていた。災害時WC対策コーナーは区のふるさと納税対象品グッズは完売した。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	開催回数を重ねるたびの協力連携実績により協議もスムーズに進行できた。

№33

団体名

グループippo

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

907,501円

事業名称

地域みんなで考える「飼い主のいない猫のコト、デキルコト」

内 容

①地域住民と連携した地域猫活動の推進

②飼い主のいない猫に関する「わかりやすく正しい知識」の普及啓発活動

③関心の輪を広げるためのPR活動（イベントや交流会）を開催し、相談しやすい環境をつくる

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

C

その理由

3年連続で地域の絆連携活性化事業に参加したこで地域における認知度が上がった。その結果、地域住民からの「飼い主のいない猫」に関する相談などの問い合わせが例年より多く寄せられた。相談への対応を優先した結果、学習会・交流会などのイベントを定期開催することができなかった。かわりにSNSを使っての情報発信や交流呼びかけなどを行なったものの、情報がSNSを利用する一部の人にしか届かず不十分であったと思う。定期開催はできなかったが、規模を拡大して開催した学習・相談・交流イベント「ねこ会議4」は多くの地域住民から関心を持ってもらえた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

3 年連続で地域の絆連携活性化事業に参加したことで、協力や連携が得られやすくなった。結果、飼い主のいない猫」に関する相談や問い合わせが増え、問題の早期発見や改善につながった。

№34

団体名

小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会

補助金使用額

186,992円

補助事業に要した経費

197,442円

事業名称

小泉公園ふれあいフェスタ 2025

内 容

“防災･防犯･環境”をメインテーマに子どもも大人も楽しめる“お祭り”を開催します。地域の皆さまとともに多様な活動を展開します。世田谷区防災･消防署･消防団･警察署･清掃事務所の協力を得てAEDや消火器の使用、煙中行動などの防災体験訓練、消防車両･パトカー･白バイ･ごみ収集車などの展示と撮影会を行います。一方で実行委員会メンバー団体による防災などの出展、バザーや模擬店、演奏会などの催し、またスタンプラリーも行う予定です。万一、当日が雨天の場合は区立駒沢中学校に場所を変えて行います。

事業評価

A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

天候に不安のある中、小泉公園での開催を決断、お祭りを開始したが、午後に入り雨が降り出し約1時間を残して中断せざるを得なくなった。さりながら降雨前は来場者、出展者、スタッフそれぞれに屋外でのお祭を楽しむことができたのでイベントとしては成功したと考える。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（ ）

連携・協力・協働の評価

A 目標以上に連携･協力できた

B 目標としていた程度に連携･協力できた

C 目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

降雨のため約 1 時間を残して中断せざるを得なくなった。さりながら降雨前は来場者、出展者、スタッフそれぞれに屋外でのお祭を楽しむことができたのでイベントとしては成功したと考える。

№35

団体名

梅丘1丁目町会

補助金使用額

194,490円

補助事業に要した経費

194,490円

事業名称

梅丘花の会

内 容

梅丘地区は障害をお持ちの方が多く、災害発生時の障害者の方々への対応の難しさに困難を憶えており、日常の交流を深めることを第一歩と考え、すまいる梅丘、ノテ梅丘との絆を強める中で、避難所運営等の示唆を得る。また、梅丘まちづくりセンター・社協・あんしんすこやかセンターが同一施設に入り、福祉の体制が充実しているため、活動フロアーを利用される方々とも花壇を話題に交流を深める中で、防災意識の向上や街をきれいに等の啓蒙活動を進める。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

福祉避難所に指定されている「すまいる梅丘」及び小規模多機能型居宅介護施設の「ノテ梅丘」入所者は花植えを待ち望み喜ばれ評価を頂いている。梅丘まちづくりセンター設置のプランターは来所者に評価を頂いている。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

町会役員の高齢化を連携先の皆さんが認識して下さり、力の必要な作業を積極的に手伝って頂いた。又、花植え水遣り等入所者が楽しみながら作業してくれた。

№36

団体名

城山小学校オヤジの会

補助金使用額

207,903円

補助事業に要した経費

207,903円

事業名称

城山小学校を拠点とした、親子と地域活動を連携･促進する事業

内 容

城山キャンプ(10月)のほか、城山小学校を拠点とする学校行事･地域イベント

城山小学校在校生の父親が中心となり、子供達の健やかな成長と地域活動への連携促進を目指した事業を展開する。

･学校行事での学校やPTAと連携してのイベント運営やパトロール等サポート実施、およびその実施の各種準備作業を通じた地域在住の父親の協働･交流

･地域行事の手伝い、防災体験、炊き出し訓練等の運営等を通じた地域との交流

･保護者家族を含めた地域住民と子どもをつなぐ、こども祭りの支援やワークショップの開催

･地域団体やオール世田谷おやじの会等の他団体との交流も含め、活動計画検討にかかる会場使用、活動報告会や懇親会の開催など全世代対象

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

城山キャンプ開催を起点とする、城山小学校を拠点とする避難所運営や周辺の地区防災に向けた取り組みを通じて、地域(町会･自治会)、小中学校･各関連団体のほか、区(まちせん等)とも連携･協議しながら、地域の皆様にご協力を頂き、より多くの皆さんと連携を実現。同キャンプを通じて防災意識･地域の対応向上を図ることが出来た。その他、学校や町会等の各種行事へのサポートや参加を通じて、地域での連携を促して顔見知りを増やし、防災･防犯力を一層高めることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	城山キャンプによる防災を旨とした訓練･イベントで、昨年と同等以上に運営者･参加者双方で地域間の交流･協力機会を提供できた他、各種行事を通じて小学校･PTA 等の地域団体の皆様との連携機会も確保できた。

№37

団体名

池ノ上イメージアップ推進協議会

補助金使用額

201,112円

補助事業に要した経費

203,747円

事業名称

池ノ上のイメージアップ推進

内 容

①さくらフェスティバル

地元中学校茶道部有志・地域剣道教室とコラボした野点茶屋を提供。

②池ノ上から世界のケイザイをを考えてみる（講演会）

池ノ上在住の講師を招き、いろいろな世代の地域の方々を対象に、変わり行く経済の動きや日々の生活に関わる事柄について意見交換しながら一緒に楽しく学ぶ。

③ハロウィンの夜を楽しもう

地元小学校・保育園・幼稚園や商店街と協力した手作りの飾り物で彩り、地域住民・PTA・児童館・青少年交流センターによるゲームコーナーを設置し池ノ上地域を楽しむ。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

設立から16年、ここ数年は特に活動への理解と協力が多方から得られてきたと実感する。今年初めて近隣3つの商店街を、各商店様の了解のもと、会場にすることができた。動線が広がり参加者も大いに楽しんでいた。また特に警備を担当して下さった町会の皆様に感謝したい。以上の感想で評価Aとした。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

警備スタッフが足りず開催が危ぶまれていたが、近隣町会さんが力を貸してくださった。本当に嬉しい申し出だった。

№38 **団体名** 池ノ上こどもとまちプロジェクト	**事業名称** 子どもをまんなかにまちをつなぐプロジェクト
補助金使用額 224,731円	**内 容** ①池ノ上盆踊り 地域の団体に協力を呼びかけ、盆踊りや屋台などを実施する。子どもから大人まで、地域の人たちが集い、楽しめるイベントを目指す。 ②夏のお楽しみ会 校庭を使った花火や、体育館での映画上映を実施する。子どもと地域の大人が混ざり合って、花火や映画鑑賞を楽しむことに加え、学校の2学期が始まる直前に楽しいイベントを実施することで、子どもたちの学校に行きたくなる気持ちを向上させられるよう目指す。 ③ハロウィンの夜を楽しもう 地域の店舗等に協力をもらい、子どもたちと地域との交流を図ることを目的に、ハロウィンイベントを実施する。
補助事業に要した経費 224,731円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	**その理由** ①6年ぶりに開催した盆踊りだったが、世代や立場を越えたつながりを改めて実感することができ、子どもにも大人にも心に残るイベントとなった。②映画、演劇、花火の3本立てのイベントで、企画段階から、来場者の動線など心配ごとがあったが、それぞれのプログラムを楽しんでもらい、良いイベントになった。③ハロウィンという非日常のテーマで、子どもと大人がゲーム等を通して楽しい時間を共有することができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	新校舎を使ったはじめてのイベントで企画段階から試行錯誤の連続であったが、運営団体画顔見知りになって協力体制をつくり、イベント当日は地域のさまざまな方に楽しんでいただくことができて、大成功であった。

№39

団体名

スマイリーひろば

補助金使用額

207,455円

補助事業に要した経費

331,423円

事業名称

みんなのおんがく スマイリーひろば

内 容

地域の0歳から小学6年生までとその保護者を対象に音楽演奏を通したワークショップを行い、子育てをしている地域の人同士の交流や絆を深めていく

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

この事業は2年目に突入し、2年目からは町会と共催、社協、まちせんの方の協力もあり、掲示板や回覧板、口コミで新しい参加者が増えていき、定着しつつあります。町会の方にオープニングで手遊びをしていただいたり防災の紹介をしたりバイオリン体験というこの事業でしか体験できないコーナーもあり、楽器作りワークショップでは地域の方同士の広がりを見せています。本当の目的である地域の子ども達への本物の音楽をきき居場所を作る部分に関しましては引き続きプロの音楽家の演奏と地域の方々の演奏を披露したりプログラムの工夫をし、参加者全員が参加出来る雰囲気を作っています。2年目にしてここまで安定して広がりを感じられると思っていなかったので、予想以上の成果を得られました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

代沢 5 丁目東町会からは毎月共催の形で開催することが出来ました。商店街に関わる方々にもゲストとして歌ってもらうことが出来ました。社協を通じて他団体と交流する機会も出来たので、今後はその団体さんも出張本屋さんとして共催させて頂く予定です。

№40

団体名

世田谷伝統芸能に親しむ会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

259,337円

事業名称

日本舞踊を通して伝統芸能を身近に感じてもらい地域を元気にしよう

内 容

子供達に日本舞踊体験の参加を促し、地域の方々との多世代交流を目的として、ふれあい体験を行います。この活動を通して、年齢の離れた方々との関わりを自然と学ばせ、社会貢献を担う人材を育成することが狙いです。講習や練習の場には地域の方々も参加していただき、町会や高齢者クラブでの披露の場やワークショップなどを設けるなどして、日本の伝統芸能を学んで頂きたいです。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

伝統芸能、日本舞踊を身近に感じてもらい地域を元気にしよう。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

地域イベントに参加することで、地域の方々顔見知りが増え、今まで以上に協力･連携が出来る衣と思います。

№41

団体名

代沢子育ておうえんだん

補助金使用額

167,684円

補助事業に要した経費

168,295円

事業名称

代沢こどもフェス in 東地区会館

内 容

「代沢こどもフェスin東地区会館」を開催する。一日だけ全館を貸切にして、人形劇、音楽とあそぼう、手がた足がたアート、手つくりおもちゃ、わらべうた、日本舞踊、ミュージックベル演奏、多言語絵本読み聞かせ、点字しおり、輪投げ、コマ回し、ボッチャ、シュミレーションゲーム等で、遊びます。また、古着交換会もします。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

コロナ禍に催し物の間隔を空けて清掃などを行うために2日間の開催としていたものを、以前の1日開催とし、終了時間を30分延長しました。その結果、朝から来場者が増え、お客さんの流れがよりスムーズになりました。そして終了までお客さんの途絶えることがありませんでした。ぎゅっと内容の凝縮された1日になったと思います。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（下代田東町会は活動に賛同して共催をしていただいています。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

下代田東町会に共催していただいて 3 年目になります。高齢者クラブ 2 箇所の協力をいただき、今回から、青少年交流センターにも協力していただけました。これからも協力団体を増やして行きたいと思います。

№42

団体名

代沢5丁目東町会

補助金使用額

137,600円

補助事業に要した経費

141,741円

事業名称

地域の絆で私たちのまちは、私たちが守る！！

内 容

防災企画

＊消火器を使った初期消火　＊温かい避難食と作り方

＊町会防災倉庫にあるもの使って災害救助訓練(ジャッキを使った人命救助）　＊発電機使い方

パトロール

＊会議の後、みんなで地域周辺を歩いてパトロールをする。

清掃美化活動

＊朝、不定期に町会周辺を清掃、たばこのポイ捨てが多く、犯罪のないきれいを維持するために清掃をする。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

声掛けや回覧掲示によって保育園児たちの参加があり盛り上がった。美化活動の定期的な清掃活動で地域の方から感謝の言葉を頂いた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（ 商店街にポスターを展示してもらった。　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

町会連合会にて広報、その結果、他の町会から参加者がいた。20
1634

№43

団体名

代沢地区町会連合会

補助金使用額

195,764円

補助事業に要した経費

201,634円

事業名称

代沢地区一斉防犯パトロール

内 容

1　決起集会

　防犯パトロールなどを実施している代沢地区内の全町会と様々な公益的団体や一般区民が代沢小学校に集合し、決起集会を行い、士気を高める。

2　一斉防犯パトロール

　決起集会後、各町会はその他の団体･一般区民とともに、のぼり旗を掲げて各々の地域までの間及び自地域内をパトロールする。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

内容自体は計画通りに十所できた。参加者数が最大想定参加者よりは少なかった。（最大130人参加と見込んでいたところ、約70名の参加だったが、予想していた以上の参加者数）

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　当日事業に参加してもらった。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

地区外在住･在勤者を含む一般参加者の参加のほか、当日直接参加してくれた団体もあった。

№44

団体名

代沢中町会

補助金使用額

236,690円

補助事業に要した経費

236,690円

事業名称

安心･安全なまちづくり

内 容

9/23実施の鎮守の森の防災フェスでは町会員並びに近隣住民に呼びかけ、発災時に備えるための防災訓練(救命救急や通報等)を体験してもらう。また、携帯トイレの使い方、備蓄用品の選択方法や利用方法。スタンドパイプの操作訓練を体験し、共助の意識向上やコミュニティ醸成を図る。
防犯防災パトロールは毎週木曜日に実施し、町会エリアの見守りや啓発活動を行うことで、安全安心な地域づくりを目指す。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

町会員及び地区住民相互の顔を知ることで信頼関係や支えあいができ、「共助」を基本とする災害時の助け合いが可能のなることを目標に活動を実施してきた。「鎮守の杜の防災フェス」では近隣町会及び地区住民の方々に呼び掛け、防災訓練を継続している。防災ラリーでは、発災時の初動対応としての初期消火や通報訓練など基本的な訓練に加え、今年度は世田谷防災NPOの協力を得て、携帯トイレの使い方を体験した。さらに防災備蓄食の考え方や利用方法についての説明を受けた。ハーリカさんと地域住民とのフォークダンスを通じて絆を深めることができた。最後に実施したアンケートでも、実際に体験することで頭だけでなく体で覚えることができた、防災備蓄食紹介もよかった、携帯トイレの利用法が参加になったといった評価が寄せられた。また、他町会の方にもお揃いのTシャツを着用いただくなど、町会内、町会間の連携･連帯感を高める試みを行った。上記事業に加え、週1回の防災防犯パトロールを町会内の安心･安全を確保するために継続的に実施している。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

地区の全町会の理解と協力を得て、事業を進めることができた。本事業の継続と発展を目指し、引き続き連携を図っていく。

№45

団体名

おはなしカラフル

補助金使用額

106,060円

補助事業に要した経費

131,483円

事業名称

絵本やおはなしで地域の仲間とつながろう！

内 容

①「児童文学作家　杉山亮氏による講演会」…児童文学作家の杉山亮氏をお招きし、小学生から大人まで楽しめる講演会を開催。

②「絵本の勉強会」…下北沢小学校など集団の子供たちに向けて絵本の読み聞かせやすばなしの語りをする大人向けの講座を開催。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

著名な児童文学作家の杉山亮さんのおはなしが聞けるということで、地域の子どもからご年配の方までたくさんの方々に町会会館にお集まりいただきました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

連携団体とは企画の段階から参画させていただき、各イベントで当団体の認知を深めチラシ配布など積極的な広報活動ができた。

№46

団体名

下北沢小学校PTA

補助金使用額

33,780円

補助事業に要した経費

39,313円

事業名称

下北沢小学校をもっと地域の人に知ってもらおう！！

内 容

創立10周年を機に継続できる夏のイベント、お祭りを開催する。ポスターを作成し、町会等へ回覧を考えている。この取り組みにより学校、児童、保護者、町会、商店街など日頃から声を掛け合えるネットワークを構築したい。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

町会を通してチラシ配りが広がり、中学校や商店街の方々の協力もあり、夏イベントが盛大に終わりました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

チラシの効果でイベントＴシャツを作った際、納品日や枚数など、下北沢商店街振興組合が迅速に対応してくださった。

No.47 **団体名** 世田谷代田SAP **補助金使用額** 246,161円 **補助事業に要した経費** 246,161円	**事業名称** 世田谷代田を住みよく安心なまちにしようプロジェクト **内 容** ①世田谷代田駅周辺の環七壁画のメンテナンス(壁画のペンキ塗り･イラスト修正)及び側道清掃(5月と11月) ②世田谷代田駅近くの代田富士見みごろ広場にて、田植え(5～6月)、稲刈り(10月予定)また、オタマジャクシやチビカエルなどの観察もできます。 ③だいたフェスタ(12月予定)代田小学校にて開催する地域のこどもまつり。代田地域の子どもたち、代田小PTA、小学校、町会、羽根木プレーパークなど地域の団体が集い、地域団体の発表や子どもゲーム、フリーマーケット他、様々な活動予定 ④地域の街づくりについて住民目線で考えるSAPワークショップ(9月、3月予定)、
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	**その理由** 今年度も基本計画の壁画メンテナンス、だいた田んぼ、だいたフェスタ、ワークショップ(計2回)を年度内のルーティンとして実施することができた。みごろ花植え隊と協働活動としての、代田富士みごろ広場の花壇や公園内の清掃･管理についても、例年通りの活動を行うことができ、年間当番の作業も定着し、メンバーも増えつつある。代田小学校を会場にして開催した「第19回だいたフェスタ」は代田小学校、代田小PTA、代田小おやじの会、代田和太鼓クラブなどの他活動団体の多大なる協力により、総勢200名の参加者で大きな盛り上がりをみせた。特に、PTAやおやじの会と潤沢な連携ができ、だいたフェスタでは、「ダンスバトル」という新しいコーナーができたり、代田南児童館、代田小学校長の心温まる協力も得られたりした。出店も多く、校庭ではゲームコーナーや食べ物屋さんが大盛況で、今年度も昨年度を上回る規模で開催することができた。壁画メンテナンスでは、リピーターが増え、安全管理のため参加者の人数調整を行ったが、多くの子供たちや地域も皆さんと交流することができた。また、「SAPワークショップ」では世田谷トラストまちづくりの小柴さんや、代田の街づくり会議に関わっている千葉さんに講師をお願いし、代田の街づくりについて、新たな学びを得ることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	通年行事の、壁画メンテナンス、だいたフェスタ、SAP ワークショップ、代田たんぼなどの行事をすべて実施し、予想以上の参加人数や協力者を得られ、新たなつながりを得ることができた。また、イベント内で新たな企画を実施したり、新たなメンバーが加わったりして、絆の和の広がりを実感することができた。さらに、ホームページやインスタグラム、SNS などの情報発信メディアを利用し、SAP の活動を広く案内して、代田のまちづくりを考えたり、代田地区の地域の絆を強めたりする意識を高めることもできた。

№48

団体名

代田小おやじの会

補助金使用額

174,305円

補助事業に要した経費

1,013,024円

事業名称

代田小における、子供たちのための学校･地域･家庭の連携事業

内 容

当会は、世田谷区代田小学校の児童を持つ父母の交流、学校と子供たちの親睦、安全･安心･防災の訓練実施、子供たちの体力増強と地域コミュニティへの貢献を目的に設立された会で、上記申請事業も当会の目的に実現するために行うものです。地域と子供たち･保護者の繋がりが希薄になりがちである中、地域の方々とともに、防災･防犯の訓練を含めたイベントを実施することで、子供たち自身が心身の成長に寄与するだけでなく、保護者や学校においても、地域団体の位置づけを再認識するとともに、地域団体･地域間及び地域と子供たち･保護者間の交流を図り、もって、安全･安心な地域づくりが実現できると考えております。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

地域団体やＰＴＡ、まちづくりセンターとも連携してより充実した防災訓練を実施し、楽しみながら防災意識を高めることができた。また、児童館とも連携し、近隣の保育園にも声掛けして、大規模なイベントを実施し、地域での顔見知りを増やすなど、たくさんの交流を持つことができ、安全･安心な地域づくりに大きく寄世できた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

児童館の協力もあり、イベントには,代田小学校の児童だけでなく、未就学児もたくさん参加してもらうことができ地域とのつながりができる場を提供することができ、そのほか地域団体を含めて活動により、地域間等の交流を持つことができた。

№49

団体名

代田睦会

補助金使用額

124,448円

補助事業に要した経費

125,328円

事業名称

代田の魅力を知ってもらおう

内 容

代田八幡神社で行われる子供祭り、大人祭りの企画運営、広報紙やチラシを作成するなどの広報活動を行う。その他、1月の三土代会餅つき、2月のせたがや梅まつり等のイベントの参加やお手伝いをする。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

子供のイベントでは子供160人父兄　80人の参加大人イベントでは150人の参加してもらい大いに盛り上がりました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

代田地区住民延べ300名以上がイベントに参加して頂き地域の絆の活性化に寄与することができました。

№.50

団体名

東北沢睦会

補助金使用額

109,405円

補助事業に要した経費

109,405円

事業名称

東北沢を再発見

内 容

東北沢自治会、東北沢商店会を中心に魅力をアピールする。地域の方々に東北沢で行われるイベントを知ってもらい、参加してもらうきっかけになるようポスターやチラシを作成し北沢1丁目3丁目に配布する。様々な活動(お祭り、餅つき、お花見など)に参加、ご協力いただくことで地域の交流を活性化し、深めていく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

北沢八幡例大祭･ふるさと祭り･ありがとう祭り･公園清掃･ラジオ体操等、おおむね計画通り、参加･お手伝い･交流ができた。団体の会員減少も心配されたが、現状維持で多くの会員が参加してくれました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

概ね計画通りに、交流･協力ができたため。

№51

団体名

NPO法人ジョイントT・M

補助金使用額

112,886円

補助事業に要した経費

147,386円

事業名称

「ここからカフェ」～お茶飲みながら　何でも話そう～

内 容

毎月第4週金曜日　13時から15時まで　8月、12月は休み、1年10回

うめとぴあ　世田谷区保健医療福祉総合プラザ1階 「研修室B」

参加者は、予約不要でどなたでも参加できる。また、心に不調を抱えている、一人暮らしや孤独を感じている方々が、居場所として楽しめる場でもある。

全2時間：アクティビティ1時間、小グループ話し合い1時間

アクティビティは笑いヨガ、パステル画、ボードゲーム、コラージュ、「自分を知るワーク」音楽療法など様々を提供している。アクティビティを供に体験することで参加者同士のコミュニケーションが広がり、地域の絆ができる。グループでは少し心配なこと、気になったことなどを話し、みんなで共有できるように、ファシリテーターが入ることにより充実した時間になる。個人的に相談したい方は無料相談も受け付けている。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

1.毎月第4金曜日13：00～15:00にうめとぴあ研修室で「ここからカフェ」を開催し常連の方々はじめ心に不安を抱えている若い男性、居場所として楽しみに来てくださる方、孤独を感じている方等多様な方々が安心して話せる場として多様な方々に存在を認識してもらえた。「ここからカフェ」は2012年から14年間継続。2026年3月現在で135回目となる。

2. 参加者からは、楽しかった、癒された、初めての体験だった、また続けていきたい、友人ができたなど地域の人たちとの絆が深まった、ここでなら話せるという感想をいただいた

3. グループでの話し合いを通じて自分自身と、参加者同士の理解が深まり、より良い心と身体の状態を作り、社会とつながり、健康的で幸せを感じる「ウェルビーイング」を体験する場と思える。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。

☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	「スズラン会」に参加して交流を深めた。一緒に物作りをしたり、ともに歌ったり、体操をした。災害時の対応についても学んだ。「スズラン会」参加者が「ここからカフェ」にも参加するようになり相互交流ができた。

№52 **団体名** 健康ウェンズデイ運営委員会	**事業名称** 健康ウェンズデイ
補助金使用額 61,086円	**内 容** 年間を通して毎週木曜日19時～21時 世田谷区立梅丘中学校　体育館･格技室 ☆ショートテニス･フットサル･卓球･ボッチャ等　子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツ体験の場の創出、提供 ･フットサル体験会を行い、フットサルの普及と共に活動仲間を増やしていきたい。 ･ボッチャ体験会を行い、ボッチャの普及と共に活動仲間を増やしていきたい。 ･フットサル体験会→「9月頃を予定」 ･ボッチャ体験会→「10月頃を予定」 ･ショートテニスは順調に活動できているので継続していきたい。 全世代対象
補助事業に要した経費 78,576円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	**その理由** 梅丘中学校格技室でフットサル、体育館でショートテニスとキンボールを交互に活動した。子どもから大人まで誰でも参加できる。というコンセプトではあるが、高齢者と子供は時間帯が夜ということもあり、増えていかないのが現状である。しかし、成年層の方々には、近隣の住民と共に週1回、あるいは隔週で運動できる場、という位置づけにしていただける。ボッチャ体験会、フットサル体験会、キンボール体験会と一般に向けて発信したけど、参加者がなく、残念な結果で人数を増やすということにつながらなかった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった C	運営の主体を参加者に任せるようにしていき、参加者の自主性を重視したことは良かった面である。そういった面もあるが、一般向けの体験会で参加者の自主性を重視したことは良かった面である。そういった面もあるが、一般の方向けの体験会で参加者が少なかった。しかし、キンボールは参加が増えたし、昨年度からフットサルも参加者は少しではあるが増えている。更なる参加者を募集したい。

№53

団体名

松原5･6丁目自治会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

322,369円

事業名称

第 10 回松原の文化祭「ふれあい絆フェスタ」

内 容

地域の子どもから高齢者までが一同に集うイベントを開催し、地域住民同士のふれあいの場として活用することで、多世代の交流を図る。楽器の演奏、ダンス、声楽（以上ステージ使用）、書画、写真、手工芸品、陶芸などの作品の発表、地域活動団体紹介などの開催を行う。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

舞台や展示、地域活動団体の紹介等様々な部門があるため、地域住民だけでなく当地区にある保育園･小学校･中学校の児童の参加も多く乳幼児から高齢者までが一堂に会し交流を深めるとても良い機会になった。また都立光明学園が会場のためバリアフリーとなっており光明学園在籍児童にとどまらず、地域の高齢者の方も来場しやすいとの声がきかれた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域で活動する仲間としてそれぞれの得意分野で協力があった。掲示板での周知や前日設営当日の運営にもスタッフとして参加してもらった。

№54

団体名

松原三･四丁目自治会

補助金使用額

168,125円

補助事業に要した経費

308,263円

事業名称

地域の子どもは地域で見守る「すくすく育て“松原っ子”」

内 容

毎月、通学時の見守り･防犯パトロールを定期的に実施し、子供たちの安全を確保する。また。11月に弁天児童遊園で地域住民と子どもたちのふれあいの場として「わくわくキッズフェスタ」を開催し、世代を超えた交流を図るとともに地域の絆を深めていく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

11月3日に開催した「松原三･四丁目わくわくキッズフェスタ」以下「キッズフェスタ」ではおよそ470名の来場者を迎え、これまで自治会活動にあまり参加したことがない子育て世代と交流することができた。キッズフェスタの開催により、多くの住民を呼び込むことで、自治会活動への理解･協力、PR活動を効果的に行うことができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（各連携団体にチラシを配布し周知してもらった。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

協力･連携団体に実行委員会に出席していただくことで、地区住民の動向や昨今の事業の方向性、キッズフェスタのあり方などの意見交換をしながら事業運営に携わっていただくとともに、地区における日常的な見守り活動の関係性の維持構築に
寄与している。

№55

団体名

松原二丁目町会

補助金使用額

11,012円

補助事業に要した経費

12263円

事業名称

落書き消しと防犯パトロール

内 容

松原二丁目町会は商店街が中心となり、高校、大学、企業等、様々な団体、住民の参加を促し、地域の清掃、落書き消し、シールはがしを行っている。そのために回覧版や町会掲示板を活用している。また、通年で小学生の下校時にパトロールを行って、防犯に対する意識の向上を図っている。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

二階堂学園高校や日本学園の生徒に地域の環境美化･防犯に対する意識向上を図ることができた。地域活動（町会）の意義も伝わった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

二つの学校に協力が得られた。町会の活動の存在に触れてもらえた。

№56

団体名

明大前駅周辺地区街づくり協議会

補助金使用額

169,170円

補助事業に要した経費

220,563円

事業名称

日本の季節の習わしやイベントを通じ、災害に備えて仲間になろう

内 容

七夕まつりや正月飾りでは、日本伝統行事を伝えると共に子供棟と交流の場を作ります。七夕では短冊を使って街に対する要望を収集。街の声を広く集めます。正月飾りの竹は竹燈籠に再加工。松原小BOPの生徒さんの「震災への思い」が書かれ3月11日「協力の灯」が点灯。駅前委にて災害時の援助・協力を呼びかけ、同時に震災対策用井戸の広報活動も行います。伝道と手押しの判別がつく「令和7年度版震災対策用井戸マップ」を更新作成し配布。10月町会と共催にて「災害対策用井戸スタンプラリー」を実施。9月1日と3月11日には町会の協力の下、震災対策用井戸の旗を所有者宅に掲げ、震災対策用井戸の周知。地域の絆を強めます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

七夕では522件もの街への意見をもらい、駅周辺まちづくり活動合同発表会に於いて街の声を発表できた。令和7年度版の震災対策用井戸の種類（電動・手動・併用）がわかる地図と住所が記載されたものを作成。スタンプラリーを行い井戸の周知を行った。保育園、小学校児童と門松を作成しその竹を再加工し竹灯篭を作成。3，11の日に駅前にて「協力のへの灯」として、竹灯篭の点灯、井戸の旗の掲示と地図の配布を行い、地域防災の絆を深めることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

令和7年度版井戸の種類別震災対策用井戸の地図を発行。駅前にて配布し災害時の絆を呼びかけ井戸の旗の周知も行った。「街づくり」について小学校校の事業について小学校の授業で講義。季節の行事をとおして子供たちと交流。地域の絆を深めた。

№57

団体名

赤堤1丁目町会

補助金使用額

129,071円

補助事業に要した経費

186,862円

事業名称

サウンドスケープ IN 赤堤コンサート

内 容

今まで55回のコンサートを開催した。ギターとピアノを皮切りに、フルート、サックス、弦楽四重奏、箏、尺八、など多種多様な音楽を近隣の方々と楽しんでいます。演奏者には、日ごろ身近には無い楽器の紹介や、演奏音楽、作曲家の時代背景なども解説してもらっています。今年度も上質な音楽を身近な場所で聞いていただくべく、ジャズピアノ、マンドリンオーケストラ、吹奏楽アンサンブルのコンサートを予定しています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

今年度は赤堤小多目的室と町内の東京新教会を会場に3回コンサートを開いた。マンドリン＆小学生合唱団、JAZZピアノとタップダンス、吹奏楽アンサンブルと趣の違う音楽を地域の皆さんに聴いていただき、好評を得た。赤堤のみならず、松原や宮坂、経堂など近隣のお客様をお招きし、絆を深めることができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

他町会や協力団体の後押しは大きな力となっている。チラシ回覧、掲示などの広報に始まり、当日の搬出搬入、設営については女性が多い町会スタッフに加え協力団体の男性に頼ることが多い。先方の事業については手伝いをし、お互い様の関係が成り立っている。

№58

団体名

赤堤に文化を！六所の森の会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

745,915円

事業名称

第 39 回六所の森クラシックコンサート

内 容

赤堤2丁目にある六所神社境内の神楽殿を舞台にプロのアーティストによるクラシック曲を中心とした演奏会を開催します。秋の夕暮れ時、かがり火の中、聴く幻想的なコンサートは忘れられない思い出となります。入場無料で日没開演。

昨年は、珍しい楽器スティールパン（Steelphan)によるバンドの音楽をお届しました。今年は、グレートブリテン大国のスコットランド伝統楽器であるバグパイプバンドを企画しました。また、八丈町との長年の連携も深まっており、八丈太鼓の演奏で来場者を迎えます。今年も新しい内容に挑戦します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

天候にも恵まれ、多くの来場者になりました。英国スコットランドの珍しい楽器バグパイプによるバンドの音楽を実施開催を期待し待っていた皆さんから感動と感謝の声が多くあった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

新たな発想で、神社の森の中の境内で、
英国スコットランドの伝統音楽（バグパイプ演奏）
を企画し挑戦。これまでの六所の森クラシックコンサート
には無かったパフォーマンスでした。参加者の皆さんが
一緒に参加しお手伝いしていただき、
大きなコミュニティ醸成ができたと思う。

№59

団体名

特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

305,951円

事業名称

町会と連携して進める地域の防災活動 PARTⅫ

内 容

年間を通して赤堤1丁目町会内で実施。地区防災計画の実践として、今年度の取り組みは(1)～(4)のとおり。

(1)正確な消火資機材分布図の作成と配布、初期消火空白地帯の見極めと消火資機材配布の働きかけ、安否確認方法の確立、「無事です」プレートの掲示徹底周知、町会本部の情報に関する役割を確立、町会本部となる場所の確保、町会の防災部での月1回の会議での具体策検討。

(2)全町会内で回覧板で報告し、意見を集約

(3)今年度の活動報告と来年度の方針を立てる赤堤1丁目防災会議の開催

(4)年3回の防災訓練のほか、町会イベントでも楽しく防災意識を高める規格を盛り込んでいく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

①一昨年度完成した地区防災計画素案を地区防災計画推進会議で話し合い、6つのテーマのうち、5つのテーマについて審議し具体的な防災計画の目途がついた。

②そのなかでも合意形成が難しい安否確認対応については、町会員に広くよびかけ意見交換会で話し合い多数の意見を出してもらい方針を定めた

③防災訓練への参加が少ない集合住宅との連携を深めるために、都の「町会マンションみんなで防災訓練」助成に応募した

④毎月1回の防災・防火部会、コア会議を実施。避難所運営訓練、北沢地域区民防災会議、松沢地区防災塾に参加、会議で周知を図った

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	安否確認対応の意見交換会には防災パートナーの方の参加が増えた。町会の防災活動を広め、発災時の協力関係を探るための町会内の地域密着型通所介護施設の職員の町会マンションみんなで防災訓練でマンション住民との交流ができた。

№60

団体名

奥沢地誌保存会

補助金使用額

169,046円

補助事業に要した経費

220,183円

事業名称

郷土奥沢の歴史関連資料の収集及び利活用･普及活動

内 容

奥沢1～6丁目、東玉川1･2丁目、玉川田園調布1･2丁目、及び歴史講演･展示等の要請がある地域で開催

･本会主催又は共催･協力の歴史展示や歴史講演会などの開催。

本会主催の歴史講演会を、年3回開催（9月･12月･2月頃を予定）

共催又は協力の歴史講座や歴史展示は、要望等により随時積極的に開催する。

･地域内3小学校で郷土の歴史の授業、私立学校では年4回の歴史講座。

･会ホームページの内容充実と、閲覧者との交流促進を通年で実施。

･チラシ、リーフレットの作成･提示･配布等により、本会活動の周知広報及び行事等への参加･協力の呼びかけに活用。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

歴史展示は奥沢文化祭と奥沢区民センターで計2回開催。･本会主催の歴史講演会は好評につき1回増やし、年3回開催し店員を超える応募あり。･歴史講座（講演）は、6団体と共催で計7回開催。施策散策、戦争体験者座談会を支援。･歴史授業は3校で開催、特別プログラムは4回開催、地域広報誌に歴史紹介寄稿継続。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	主たる事業である講座（講演）及び展示会に関しては若干減少したが、本会主催の歴史講演会を 1 回多く開催し地域からは好評を得た。

№61

団体名

みかも保存会

事業名称

奥沢海軍村当初の建物と緑を残しつつ、その歴史をも伝え残していくために

内 容

「奥沢海軍村ゆかりの風景」は区の地域風景資産に選定されていますが、昭和60(1985)年には20軒ほどあった海軍村の建物は、いまでは3軒を残すのみで、その中でも一般公開しているのは「読書空間みかも」だけとなりました。

100年からの奥沢の歴史をずっと見つめてきた建物や庭の木々をこれからも維持するだけでなく、文字と向き合う機会の一つとして絵手紙のワークショップを開いたり、私設図書室としての活動のほか、歴史を考えるような機会や冊子をつくり奥沢交和会等での配布等をお願いすることで、地域の方々がより一層奥沢を知り、地域への愛着をも深めてもらえるように取り組んでまいります。

補助金使用額

136,730円

補助事業に要した経費

139,335円

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

計画したイベントおよび冊子制作は予定通り行うことができた。絵てがみのワークショップの日程が講師の予定等で12月末となったため、参加者募集の活動を開催日近くなるまで行うことになった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

去年に引き続き奥沢交和会の掲示板、まちづくりセンターの掲示板等によりイベントの集客増につなげることができた。小冊子作成に近隣団体のご協力を得ることができた。

№62

団体名

ここからカフェ九品仏

補助金使用額

125,211円

補助事業に要した経費

168,200円

事業名称

ちょっと息抜きしたい、話したい場所　ここからカフェ九品仏

内 容

4月　歯科衛生士さんから歯の健康　5月　視覚障碍者も楽しむブラインドダンス　7月　すばなしを楽しむ会　8月　戦後80年証言ドキュメンタリー“東京大空襲”上映　9月　フレイル予防“栄養の話”　10月　災害関連のお話　11月地元芸人“うそまことショー”　12月　手話ダンスとオカリナ演奏　1月　骨粗鬆症について医師から聞く会　2月　食品添加物を考える

以上を九品仏複合施設活動フロアにて原則第4土曜日13:30～15:30で企画しています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

年10回の開催が出来た事。初めての方も来てくださった事。中でも視覚障害のブラインドダンスを多くの方に紹介出来た事や戦後80年今聞ける戦争の話を95歳の高齢者と出会いお話を聞けたことは、とても印象に残ります。地域の事をもっと次世代に伝えていく絆を大事に活動を続けていきたいと思います。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　①～③の団体会合及びボランティア 参加）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

絆補助金を頂き、ホームページ掲載料お支払いしています。ホームページを見てのご参加など、より沢山の方と出会いがあり絆深めています。多少なりとも、講師謝礼をお支払いして充実した時間をもつことは、この上ない時間の過ごし方と感謝して、地域の絆を深めています。

№63

団体名

子ども会少年団を育てる世田谷センター

補助金使用額

249,146円

補助事業に要した経費

305,774円

事業名称

地域に子どもの異年齢集団を育てよう

内 容

異年齢の子ども達による集団外あそびが中心。月2回の近隣公園での外遊び、地区会館等を利用したギター講習会、ボードゲーム等をしながらちょっと年上のお兄さんお姉さんと語り合う中学生会、本番まで何度も会議や訓練を重ねて仲間意識を育んで臨む夏のキャンプ、近隣の商店街のハロウィーンへの参加、クリスマス会、話し合いで決めたテーマについて、指導員が学び、会議を重ね、学んだ事を子ども達に伝える青空学校。その他、地域の盆踊りや、新春こどもまつりの手伝い、秋には代々木公園で行われる外あそびの祭典あそび万博へ参加。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

ここで育った子ども達が成長し、今度は指導員となり、自分達が楽しかった体験を地域の小中学生に繋いでくれている。その繰り返しを約50年続けている。今年もまた同じことができた。指導員だった子が保護者として参加してくれたのが嬉しい。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域の小学校の盆踊りや新春こども祭りなどで、頑張っている子どもと指導員に地域の方達がとても温かい言葉をかけてくださる。逆にラジオ体操の行事に子ども達も積極的に参加してくれた。、これからも地域の大人と子どもを繋ぐ役割を果たしていきたい。

№64

団体名

玉川田園調布防犯パトロール隊

補助金使用額

200,000円

補助事業に要した経費

218,400円

事業名称

「安心して暮らし続けられるまち」を多世代に広げるまち守り活動

内 容

①防犯パトロール活動の継続と犯罪発生データの蓄積による予知防犯を目的とした広域データの分析（毎月）

②「安心・安全まちづくりニュース」の発行と事務局会議によって地域の安全に関する情報共有を進め、防犯パトロール隊員の拡大を図る（毎月）

③安心・安全まちづくりに対する関心を高めるために防災、交通安全、高齢者・子どもの見守りをテーマとしたシンポジウムを開催し、参加者の年代層を広げ地域の絆づくりを進める（9月と2月）

④周辺町会及びPTA、玉田シニアサロンと連携し、防犯パトロール活動のサインである首下げ防犯カードの周辺地区への普及を図る。（通年）

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

事務局会議は対面でほぼ予定通り開催することができた。（2月については参加者の日程が合わず中止とした）・安全安心まちづくりニュースは予定通り12回発行することができた。・シンポジウムは「楽多の会のヒストリー」を開催した。・年末には玉川田園調布と協力し火の用心パトロールを二日間にわたり実施した。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

防犯パトロール隊の町内最大の登録メンバーを持つメーリングリストを活かして地域イベントの告知に協力した。

№65

団体名

特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

補助金使用額

236,939円

補助事業に要した経費

236,939円

事業名称

九品仏の多様な活動団体のよる街角保健室　2025

内 容

2025年6月～2026年3月にふくろうクリニック自由が丘、デイ･ホーム玉川田園調布他、参加団体各自の活動場所で開催

2023年に行った「街角保健室プロジェクト」と同様、まず地域の活動団体と、相互の活動を知り合うことで、地域の絆がより強くなることを目指す。地域の住民にも参加団体の活動をより広く、深く知ってもらうための、「地域共生街角祭り」、「街角カフェ」を開催する。また、ポスター等の広報物を作成して九品仏地区管内の町会自治会、商店会にもこの活動をPRし、住民にも情報共有を図っていく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

C

その理由

他団体の連携や、ネットワーク作りは多くの方の協力で思っていた以上の成果が得られ、次の一歩への期待は高まっているが、この事業の担当者が体調を崩し、スペースえんがわinn開催の街角保健室が思うように開催できなかったこと、参加団体の活動が一覧できるカレンダーの作成が、思うようにできなかったことなど、当初の予定通り進めることができなかった。また、会議開催をオンラインで行ったため、紙資料の作成が必要ではなくなり、経費予算の立て方に一考が必要だった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

担当者の体調不良により街角保健室@スペースえんがわ inn が一部開催できなかったこと、参加団体の活動が一覧し、一目でわかるカレンダー作成が出来なかったにもかかわらず、街角祭には予定以上に趣旨に参道してくれた多くの団体が関わり街角まつりには予定以上に趣旨に賛同してくれた多くの団体が関わり街角カフェにも多くの参加者があり、目指す方向に確信が持てた。

№66 **団体名** 尾山台中学校おやじの会	**事業名称** 花壇･焼芋作りを通じ地域の方々と共に生徒たちに体験の場を提供
補助金使用額 149,634円	**内 容** おやじの会は尾山台小学校及び地域で開催される行事やイベントに縁の下の力持ち、時には主催者として参加し、生徒達や地域の方々に文化、地域連携を体験できる場を提供。 「花壇づくり」では事前にチラシ配布の上、11月に商店街や近隣住民と生徒達と協力し、一緒にパンジー･チューリップなどを植えます。開花する春先には学校沿道も色づくため近隣住民の方への美化意識を向上促進します。「焼き芋づくり」でも事前にチラシ配布の上、生徒と一緒に焼き芋づくりを体験し、出来上がった焼き芋を生徒および地域、近隣、商店街の方へ提供。花壇や焼き芋を通じて、生徒は地域（商店街や近隣住民）と交流し、自身の将来の貴重な経験をしてもらいます。
補助事業に要した経費 177,181円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	**その理由** 子どもたちが主体的に活動に取り組み、地域の大人と交流しながら花の植え付け方やドラム缶 での焼き芋作りなどを体験し、学ぶことができていた。花壇に関しては育てるための水やり なども実施していかないといけないことを学び、生徒が自発的に気が付いた際に水やりを 実施するなど継続的な取り組みとすることができた。また、花が咲く時期には地域の方 から学校の前を通るのが楽しみになっている、癒されるなどの話もいただき活動の成果が出ている。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	近隣町会など地域の方と協力の上実施することで、子どもたちと大人の交流･大人同士の交流が生まれた。植え付け方や焼き芋つくりのノウハウも共有もできた。

№67

団体名

尾山台小学校おやじの会

補助金使用額

25,458円

補助事業に要した経費

91,047円

事業名称

「地域の子供は地域が育てる」を理念とし、子供の健全に協力

内 容

尾山台小学校及び地域で開催される行事やイベントに縁の下の力持ち、時には主催者として参加し、子供達や地域の方々に文化、スポーツを体験できる場を提供していきます。「サバイバルキャンプ」では小学校の体育館や校庭を利用し、地域の子供達やその保護者様を対象に災害時の対応を経験してもらったり、防災意識の向上の講演会を実施しております。「ウクレレキッズ」は地域の子供達と保護者を対象に希望者を募り、6～10月に小学校や中学校にて練習会を実施。尾山台フェスティバルをはじめとしたイベントへの参加、地域の方々との交流を図ります。また、「E-Oyaji」ではお父さん達の職場体験やものづくり体験(プラスチックリサイクル体験、JAL紙ヒコーキ作り教室等)を行ってもらい様々な経験を積んで自身の将来の参考にしてもらいます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

予定していたイベントに関してはほぼ開催することができた1年だった。町会、PTAとも連携し、各種イベントを無事成功することができた。特にサバイバルキャンプではコロナ禍から自粛していた講演会や炊き出し訓練も数年ぶりに実施。子どもや地域の大人達への体験の場を提供することができ、大きな成果を得ることができたと感じている。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	尾山台運動会や尾山台裏通りﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙなどにご協力させて頂くことで、まちの多くの方の笑顔のお手伝いをすることができました。

№68

団体名

玉堤小学校おやじの会

補助金使用額

47,720円

補助事業に要した経費

51,670円

事業名称

地域の活動と子どもたちの笑顔のために

内 容

①夜景パトロール：月１回地域の方や保護者と一緒にパトロールします。

②ごみ拾い：地域の方や保護者、子どもと一緒に通学路のごみ拾いをします。

③おやじの会ユニフォーム作成：おやじの会活動を地域の方に知っていただくためにおやじの会ユニフォーム着用。

④アドベンチャーin多摩川：世田谷区教育委員会や実行委員会が主催するアドベンチャーin多摩川に参加するために、地域の方や保護者に協力して頂きイカダを作成、イベント当日は地域の方に応援して頂く。おやじの会はイベントの準備や当日の警備も行っています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

学校や地域の活動に積極的に参加することで、より多くの情報交換が出来たと考えています。また、夜警パトロールやゴミ拾いでは、挨拶をしながら活動することで、玉堤小学校おやじの会の活動をより知っていただくことが出来ました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

各団体が主催するイベントに参加することで、情報交換など沢山コミュニケーションを取ることが出来た。

№69

団体名

玉堤小学校PTA

事業名称

地域や学校保護者で協力し、子供たちに様々な体験を届けよう！！

補助金使用額

134,990円

補助事業に要した経費

163,023円

内 容

玉堤小学校在校生の保護者が中心となり、子供たちや地域の方が交流できるようなイベントを年3回主催する。

①玉堤フェスタを開催し、子ども達と近隣住民の交流の場となり、顔の見える付き合いを目指す

②あいさつ運動を地域の自治会でも日程共有、地域行事をPTAへの日程共有をそれぞれ行う。それぞれに参加しあうことで町内会と保護者のつながりを持つ。

③学校行事のライブ配信を行い、地域の方々にも行事の様子を共有し、学校のことを知ってもらう

④行事の内容を広報誌や動画、写真としてまとめ配信する

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

自主開催の玉フェスでは、1000人を超える来場者があった。小学校の生徒、卒業式、入学前の近隣の保育園・幼稚園の児童とその保護者、地域住民、学校の先生やご家庭など、学校という場所を通して色々な世代の方々がコミュニケーションをとることができたことが良かった。事前のやり取りなどを重ねて行く中で、お互いに助け合う場面も見られた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

それぞれが主催するイベントに相互に連携して参加することができた。どのイベントも、多くの参加者があり、多世代の交流の場となった。運営人数が少ない中でも、それぞれが得意なことを行う事で魅力的なイベントと出来た。

№.70

団体名

玉堤小コミュニティー

補助金使用額

181,200円

補助事業に要した経費

184,000円

事業名称

玉堤小学校と地域をつなぐ活動

内 容

町会や玉堤小学校、同PTA、同おやじの会、玉堤みどり会などと協力して、広報紙「玉堤小通信」の年6回発行、ラジオ体操、餅つき体験を開催し、様々な方へ参加を呼びかけ「顔の見えるお付き合い」の輪を広げて、子どもたちの安全と地域の防災防犯に役立てる。
（玉堤小学校　校区での開催）

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

ラジオ体操実施や餅つき体験に関しては玉堤小学校児童およびその関係者、地域の方に参加いただき計画通りに進め、今後の課題はより多くの人への告知方法の検討がありました。玉堤小通信に関しましては学校と地域の橋渡しになるように内容を工夫しながら学校と相談しながら進めることができました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

各団体と連携し、ラジオ体操や餅つき体験を協力･連携して進める事が出来た。特に、玉堤小学校 PTA とはイベントの準備をしながら協力して進めてゆき、さらなる交流を深めることができました。

№71

団体名

等々力小学校おやじの会

補助金使用額

131,146円

補助事業に要した経費

146,986円

事業名称

子供の健やかな成長を目的とした親と学校、地域の連携

内 容

1 等々力小あいさつ活動を自治会の掲示板に掲載しおやじの会も参加することにより、近隣住民および自治会とのコミュニケーションを促進する。

2 近隣自治会主催の防災訓練、避難所運営訓練に参加し、有事の際には円滑に行動できるよう連携を強化する。

3 学校行事のライブ配信により、地域に開かれた学校づくりを支援する。

4 等々力小学校PTAおよび近隣児童館のイベントに協力し、児童と地域住民とのふれあいの場を増やす。

事業評価

A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

いかだ大会を計画通りに取り組むことができた。地域参加者、参加保護者、参加教員より評価いただき、親と学校、地域の連携できた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（ ）

連携・協力・協働の評価

A 目標以上に連携･協力できた

B 目標としていた程度に連携･協力できた

C 目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

いかだ大会に向けては、東深沢小･中おやじの会と連携して実施地域、近隣、卒業生およびその保護者なども連携を強化し、地域を盛り上げる一員として活動していきたい。

№72

団体名

おでかけサポーターズ

補助金使用額

47,000円

補助事業に要した経費

177,000円

事業名称

一般公共機関を一人で利用困難な方々が自由に外出し自立した生活を実現する。

内 容

毎月水曜日に等々力～野毛～二子玉川のコミバス路線で午前中に3往復の運行を、社協、野毛町会、尾山台商店街、玉川地区民生委員、まちづくりセンター、地域ボランティアと連動して運行する事によって地域コミュニティを構築していく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

登録利用者が40名以上になり1日平均5名位の利用者になり、町会の運転の応援を2名の方が参加して頂ける様になった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　まちづくりセンターでチラシを配布していただいた。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

サポーターズとしては人、物、金のない中で野毛町会、まちづくりセンター社会福祉協議会、各商店、クリニックとの横ができた。

№73

団体名

特定非営利活動法人ら･ら･ら

事業名称

地域のみんなで活性化 in 楽ちん堂カフェ

補助金使用額

202,126円

補助事業に要した経費

228,096円

内 容

8月から3月にかけて楽ちん堂カフェ、野毛青年育成支援センター、等々力児童館、友愛十字会で開催します。

特定非営利活動法人ら･ら･らの拠点である楽ちん堂カフェにて「地域住民の健康づくり」をテーマにしたイベントを開催します。華道など内面から意識した健康だけではなく、ご自身での日々の健康づくりにつなげることで地域住民の活性化を目指します。イベント情報はポスターを制作し、SNSでの宣伝、チラシを配布していきます。

･8月　植物を利用した間接照明を制作する講座を実施予定

･10月　華道を通したメンタルケア講座を実施予定

･11月　植物を利用した間接照明を制作する講座を実施予定

･12月　楽ちん堂のカフェ内をギャラリー併用して区民展を開催する

･1月　書道を通して、メンタルケア、集中力向上につながる書道教室を実施予定

それぞれの講座で制作･展示した成果物を連携団体の施設に展示する

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

例年通りのオペレーションを基盤としたことで、突発的なトラブルもなく円滑に進行できた。また、地域のネットワークを活かした周知により、目標としていた参加人数を確保することができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	子ども食堂や託児所等の協力を得て多角的な広報を実施。講座の作品を同施設に展示し活動を地域へ共有したことで、他団体と顔の見える関係を深められた。概ね目標とした連携体制を築くことができた。

№.74

団体名

中町4･5丁目町会　防犯部

補助金使用額

107,945円

補助事業に要した経費

109,445円

事業名称

日だまりレンジャーと緑のレンジャーで結ぼう中町コミュニティー

内 容

緑のユニフォーム着用して（各交差点や十字路で）小学校の登下校見守り。午後6時帰宅の新BOP児童の各家庭への送り届け。（産経新聞、読売新聞、公明新聞、東京都庁の子供見守りの掲載等で、話題になりました。）

町内夜間パトロールは、毎週土曜日に役員以外の一般参加者と共に和気藹藹で続けています。

上記活動のほか、各行事の警備を、行っています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

何年も続けている事業計画ばかりですが、取り組む事は何とか出来たと思います。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

今年度は結成したボランティア（チョイボラ）の若い世代に動いていただき、他の団体とも協力･連携できました。

№75

団体名

ペット防災せたがやネットワーク

補助金使用額

172,646円

補助事業に要した経費

172,646円

事業名称

防災力のある地域づくりのためのネットワーク

内 容

シモゾノ学園国際動物専門学校にて、獣医師により、動物の生態、避難時の過ごし方、必要なしつけ、心身の健康維持などについて学び、ペット同行避難を行うために大切な知識を習得していく全6回の連続セミナーです(単発受講も可能)。また、意見交換などを行いペット防災のマニュアルつくりや避難所設営にあたってのルールつくりにつながるように発信していきます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

ペット防災に興味をもって情報収集の場としてセミナーへ参加し、防災対策に取り組む飼い主が増えてきた。ペット同行避難、防災意識向上、ペットのしつけ、在宅避難、防災グッズの準備などや、災害時に命を守る行動をとり、連携と協力出来るネットワークが広げられた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　世田谷獣医医師会の動物フェスティバルにてチラシの配布、動物病院への設置依頼）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

地域の避難訓練へのペット班としての参加は 5 回目となり、顔なじみの方も増えてきたことでスムーズに作業ができるようになり問題点や改善点などについて話し合うことができた。ペットと共生できる地域づくり、避難所つくりを行うためのネットワークも広がりつつある。

№.76

団体名

大山みちおこし委員会

事業名称

大山道場（大山街道の宿場町として発展した用賀エリア周辺の歴史の伝承）

内 容

11月に講演会･まち歩き、2月～3月に展示会を用賀まちづくりセンター3回活動フロア会議室等で開催します。

1. 大山街道歴史講演会　大山街道や地域歴史の講演を予定
2. 大山街道歴史散歩　　講演会に関連したまち歩きを実施
3. 大山街道歴史歴史散歩リーフレットを作成して参加者や地域の方へ配布
4. 世田谷区信用金庫用賀支店で展示会

補助金使用額

164,385円

補助事業に要した経費

169,504円

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

9月に町会回覧でイベント周知を実施、11月に大山街道歴史講演会、12月歴史散歩を開催、地域の方約40名の方にご参加いただいた。2月中旬に世田谷信用金庫用賀支店のロビーをお借りして、講演会と歴史散歩の内容を写真と地図･解説の展示会を開催した。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　展示会の場所を貸出ていただいた）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

町会回覧でのイベント周知、講演会内容や講師へのご協力、例年玉川第区民センターにて開催してい展示会は改修工事のためお借り出来ず、用賀商店街振興組合の紹介協力で世田谷信用金庫用賀支店ロビーで開催。

№.77

団体名

上用賀一丁目まちづくり協議会

事業名称

災害に強く、暮らしやすい環境作りとハートフルで愛着の持てる地域愛と絆作り。

内 容

私学である高等学校の1室をお借りし、毎月スタッフ会議を開き、情報交換、事業計画を遂行する話し合いをします。その結果「上用賀一丁目まちづくりニュース」を発行し、全戸にポスティングをして情報を発信しています。地域の小学校2校の郊外PTA協力の基、防火・防犯に向けた「子どもパトロール」、大人が主で行う「年末パトロール」、地域住民の交流そして災害に備えた防災講習や共助について車中にておこなう「バス交流会」を実施しています。

補助金使用額

121,418円

補助事業に要した経費

526,418円

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

「子どもパトロール」「駒大高祭」「年末パトロール」と年間事業計画通り進める事が出来た。毎年同じようなイベントを繰り返すとマンネリ化しやすく活気にも影響するが、住民、その子供たちが積極的に手伝ってくれ来年にもつなげられる思いを残してくれた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

用賀商店街や地域の行事などで協力依頼書を頂き、協議会も地域に受け入れられ互いに協力を行う事を進める事が出来た。

№78

団体名

用賀地区安心･安全推進会

補助金使用額

60,121円

補助事業に要した経費

60,121円

事業名称

安心･安全なまちづくり推進のため、町会相互の協力及び助け合い

内 容

現在、行っている取り組み事業として防災（在宅避難や事前の備えなど）や防火（家庭内に潜む出火啓発）や交通（自転車のマナー向上や歩行者等の事故防止など）そして防犯（犯罪対策や被害防止策）などについてさらに調べ、協議し、より進化充実させてチラシにし、発信してゆきます。
専門家の話を聞くために「講演会」（8月、11月に開催予定）を開き、専門知識の定着を図り、住民自らが注意し考える力を養ってゆくことを期待します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

防犯･防災･交通啓発チラシをほぼ年間計画通りに作成･発行し、各町会･小中学校等･人の集う商店会などに配布することを通して、防犯･防災の対策情報や自転車の安全乗用啓発を行うことができた。また防犯講演会を行い、電話詐欺の手口･対策を学ぶことができました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

4町会･自治会の活動の場としている地域内の団体･小学校･中学校の協力を得て、災害への防災意識･交通ルールに関し、共通の危機･安全への認識を得た。

№.79

団体名

陽杲会

事業名称

希望　絆　感謝　～のんびり　ひととき～

おたがいさまの会　陽杲会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

283,999円

内 容

・ふれあいいきいきサロン活動

・茶会（呈茶席・体験茶席を通じて世間話や相談話をすると同時に専門家から助言や情報を参加者が得る機会の茶会を実施）

・音楽会（チャリティ含）読書会（黙読音読）楽しみながら情報取得と社会貢献

・社会的課題についての講演会　体験型講演会

・犯罪被害者支援周知啓発広報活動

・犯罪被害者支援ホンデリング活動（読み終わった本で寄付をする活動）

・犯罪被害者支援交通安全朝顔（けんちゃんの朝顔）の理解者協力者を増やす活動

・警察・消防による情報発信・講演会　災害時対応・避難訓練講演会等

・文化芸術健康についての情報発信講演会など

・いずれも参加者や地域の方々の声を伺い、生かす事業を組み立て実施する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

多様な生き方を認め合い、相互理解や寛容な生き方を共有する機会を作ることができたから。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。

☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	①絆活動から町会行事活動へに参加があった。 ②町会や PTA と一緒に絆事業の活動が継続できた。③絆事業の紹介をしてその重要性を実施者や参加者と共有した。

№80

団体名

アクティブチャイルドクラブふたこ

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

796901円

事業名称

運動を通じて地域に仲間を作り、心と身体を健康にしましょう！

内 容

（通年で）未就学児・小学生を対象に（主に多摩川河川敷の公園や体育館にて）様々な運動やバドミントンをします。単に、年齢や体力レベルに応じて「運動基礎能力」を発達させるだけでなく、異文化（外国人のこども）や様々な学年が集まって運動することにより、自主性や多様性も身につけます。上級生の動きを見て真似る、下級生に教えてあげる、などのコミュニケーションの機会となり、また、その保護者も一緒に運動しながら地域の繋がりを作っています。加えて、季節の催し物をしたり、書初めなど日本の文化活動も行い、子供から大人まで地域住民が繋がりを持って楽しめる工夫をしています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

当活動が口コミ等によって地域に広まり、大人（男性の育児参加等）も新しく活動する機会が増えた。未就学時が歳上のメンバーと関わることにより、スムーズに小学校に馴染めるようになったり、自身がが通う小学校以外の繋がりもでき、地域の絆を深めることができた。新たなエリアで中学の施設を使って活動することにより、活動の幅が増えた。また、この地域に住む外国人も、子供たちを通じて日本人との繋がりができたと大変喜ばれた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（学校開放イベントに参画して、当日はスタッフとして協力した）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域と一体となった二子玉川小イベントにて、計画段階から連携し、当日のスタッフとして協力できました。

№81

団体名

スマイルひろば

補助金使用額

137,557円

補助事業に要した経費

137,557円

事業名称

区営アパート住民等の地域交流と緩やかな見守り体制づくり

内 容

・区営玉川3丁目アパート内にて、地域住民の方も含め、ラジオ体操（週2回）を実施して、住民同士の交流やつながりをつくる。

・区営玉川3丁目アパート周辺の緑道で地域住民の方を含めて花の寄せ植え活動（5月、10月）を通じ、顔の見える関係づくり、交流及びつながりをつくる。

・七夕やクリスマス会の行事を通して区営玉川3丁目アパート住民及び地域住民を交えて交流の場を作り、つながりをつくる。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

・緑化活動：社会福祉協議会の声かけで、近隣住民、アパート住民、そして区営アパートに併設されて事業所（まいぷれいす）などと交流活動できた。

・七夕：近隣の保育園で笹竹をいただき、七夕飾り、短冊を多く作り、飾った。大変立派な笹竹に仕上げることができた。・ハロウィン：まいぷれいすの企画でアパート住民が初めて参加を行った。事業所に通所している子どもたちがハロウィンの仮装をし、アパート内の踊り場で子どもたちからハロウィンのお菓子をいただいた。そして踊り場に集まることができなかった住民（主に高齢者、事前に訪問伺いの聞き取りを実施）の部屋へ伺い、子どもたちがハロウィンのお菓子を手渡した。若者と高齢者の多世代の交流をする機会がなかったため、大変、良い機会となった。・クリスマス会：アパート住民及び地域住民の方等、約60名の方が出席された。ボランティアによる生バンド演奏及びコーラスを披露いただき、楽しんだ。そしてまいぷれいすに通所している子どもたちとの交流も企画し、トランプやカードゲームなどを多世代交流として楽しんだ。・ラジオ体操：4月～11月、令和7年3月、週2回実施し、継続して実施できた。近所同士が顔の見える関係を作ることができ、雑談を楽しんだり、日ごろの悩みや心配などを気軽に話を出すことができるご近所同士の関係性ができてきた。・ちょこっと体操：ラジオ体操が休止となる冬季期間の12月から令和7年2月まで、初の試みとして実施した。区営アパートに常駐している生活協力員の協力のもと、簡単な体操や脳トレなどを談話室で週1回開催をした。毎回の参加者に変動はあるものの、少しずつ区営アパート住民浸透していった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	一人では出来なかったことが協力連携することで、大きな楽しみに繋がり、ご近所関係が深まることができた。

№82

団体名

TAMAGAWA BREW　事務局

事業名称

多摩川河川敷で地域のつながりをつくるイベント TAMAGAWABREWvol.7

補助金使用額

224,694円

補助事業に要した経費

325,694円

内 容

2025年10月11、12日に多摩川河川敷の兵庫島公園で開催。近隣地域や多摩川地域で活動する多様な主体が様々なコンテンツを持ち寄って、くつろぎ・交流・体験・発見にあふれるイベントを実施する。具体的にはまき割り、DIY（トンカチ村）、カヌーなどの大人も子どもも楽しめる体験や多摩川の野草教室、地元の飲食店の出店などを予定している。

出展者として参加できる機会を広く開きながらも、公共空間を使ううえでの配慮や出展者どうしの関係性づくり、来場者との交流の大切さなどに共感してもらったうえで、出展者と一緒にイベントをつくっていく。

また、イベント開催までの企画、準備の段階から毎月、出店、ボランティア、運営などに関心のある方どなたでも参加できる集会を月一回行っている（初回は2025年6月21日）。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

C

その理由

2日間開催のうち天候により1日の開催となった。

堤防、橋の工事が完了して会場までのアクセスがよくなったのはよかった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	二子玉川エリアマネジメンツの協力で近隣への周知のポスティングも行った。

№83 **団体名** 二子玉川大山みちフェスティバル実行委員会	**事業名称** 大山みち周知活動（二子玉川大山みちフェスティバル）
補助金使用額 250,000円	**内 容** 不定期に実行委員会。6月フラッグ作成、7 - 8月とうろう・絵とうろう作成、10月大山みちウィーク開催、11月フェスティバル実施。 地域で活動をする住民・団体が協働して、地域の資産である「大山みち」を周知する活動を行う。不定期に集まり実行委員会を開催して話し合いの場を設ける。10月下旬に、大山みちが通る商店街に、二子玉川小学校の児童が作成したフラッグやとうろう・絵とうろうを作成して展示する。10月、とうろうなどの展示期間は大山みちウィークとする。 11月に、大山みち沿いの二子玉川小学校を会場とし、誰でも参加できるフェスティバルを開催する。
補助事業に要した経費 450,066円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	**その理由** 大山道に飾るとうろうを増やし、大山道の風景を彩ることができた。メインの活動となるﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙも開会式で小学校・高校の演技や演奏を中心に充実した内容で、イベントもどなたでも楽しめる内容検討しながら実施することが出来た。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価 A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	**その理由** フェスティバルの日程がいつもより遅く他のイベントと重なったが、それぞれに考え協力して活動を行うことができた。

№85

団体名

「こどもとわたし」“元気の日”

補助金使用額

185,491円

補助事業に要した経費

204,584円

事業名称

「まったりカフェ」

内 容

夏、秋、冬、春の年4回、深沢8丁目のシェアスペース深沢で開催予定

・子育てサロンの活動。地域の乳幼児、小学生の子どもと親が自由に参加し、支援者や地域の方々、講師、参加者同士が、食や遊び、講座などを通じて自然に楽しく交流する活動である。ボランティアも柔軟に受け入れている。

・食育講座や、音楽講座では講師により毎回テーマに沿って子どもも大人も楽しく参加しながら学びや体験、交流ができるようにしている。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

令和7年度はより幼い子どものいる親子の参加を見越して準備したところ、参加があったことが理由である。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（ SNSで事業を周知してもらった。 ）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

桜新町親和会をはじめ、他団体と交流ができ、本事業参加者にも案内でき、参加していただけたこと、また本事業について地域での理解がいただけたことが、地域の絆を強める小さくても大切な歩みになると考え、今後も継続していきたい。

№86

団体名

桜新町親和会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

374,830円

事業名称

多世代間が交流する街づくり

内 容

・ボッチャの会：毎月第三土曜日に開催　地域の方々に自由参加で楽しんでもらう。

・こどもまつり：5/18開催　多数の外部団体と協力して、地域の子供たちとの交流の場とする。

・かみしばいの会：子供向けに毎年開催を目指し、地域の歴史、昔話などを主に届ける。

・落語会：高齢者向けのイベントを継続し、笑いと川の機会を作る。

・『親和会だより』を発行し、地域の歴史や話題、町会のイベント、事業内容を広く知ってもらう。

・ゴミゼロデー：地域の団体や住民と協力して清掃活動を行う。

（桜新町区民集会所にて開催）

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

事業計画通り、定期理事会、こどもまつり、ゴミゼロ運動、ボッチャクラブ、落語会などを行うことができ、地域の活動を知ってもらうとともに、多くの参加者を迎えることができた。『親和会だより』も定期刊行でき、広く町内活動の報告ができ、町の話題も届けることができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

毎年参加協力いただいており、行事の役割分担なども積極的に担当してくださり、地域の一体感がある。

№87

団体名

NPO法人　世田谷スポ･レクネット

補助金使用額

227,702円

補助事業に要した経費

609,898円

事業名称

障害のある人ない人、年齢問わずみんなでUniスポ･レク交流

内 容

Uniスポ･レク（ボッチャ、卓球バレー、モルック、車いすテニス、もちつき体験＆軽運動とレク等）を実施して、地域内の多世代･多様な立場の住民が自然に交わり、地域住民同士の交流の機会を創出します。また、つながりを深め地域全体に「顔の見える関係性」を築き、それによって地域全体の支えあい体制づくりを図ります。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

イベントのチラシやホームページ、SNSによる周知により幅広い年代の参加が得られ、計画通り円滑に実施できた。活動を通じて参加者同士の交流や協力が促進され、「また参加したい」との声も多く本事業は顔の見えるつながりの形成に寄与し、当初の目的を達成するとともに、期待以上の成果を得ることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

町会（深沢三友会、深沢町会連合）や地域活動団体（東深沢スポーツ文化クラブ、深沢小学校おやじの会）と相互に連携し、役割分担や情報共有を図ることで、円滑な運営と参加者の拡大につながった。結果として、当初の想定を上回る協力体制を構築することができた。

№88

団体名

正しいラジオ体操普及隊

補助金使用額

123,470円

補助事業に要した経費

123,470円

事業名称

正しいラジオ体操の普及による健康交流

内 容

主に夏休み前、夏休み中に各町会の公園や神社、各学校の体育館や施設で開催。

・ラジオ体操を通して、地域の交流と絆を深め、仲間意識の促進を図る。

・児童生徒や地域住民及びスポーツ団体に、正しいラジオ体操の普及と習慣を図る。

・健康に関心を持ち、健康維持促進の気持ちを育てる。

・夏休み中学生ボランティア講習会（年1回）

・地域のための講習会（年3回）

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

高齢者は健康維持のため参加者が増え、交流も盛んになった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

皆さんが楽しんで率先して参加していただいた。

№89

団体名

東深沢小学校　おやじの会

補助金使用額

183,922円

補助事業に要した経費

631,676円

事業名称

おやじの会が取り組む、子どもと地域の大人たちとの地域交流

内 容

年12回程度、東深沢小学校の周辺で開催

・東深沢小学校運動会の運営サポート
・東深沢小学校でスポーツゲーム大会
・世田谷区主催の筏レースに出場
・東深沢小学校で1泊2日のキャンプ
・東深沢小学校で工作教室
・東深沢小学校から羽田空港へのナイトウォーク
・地域イベントのお手伝い（桜祭り、夏祭り、秋祭り、餅つきなど）

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

町会･自治会等のイベントでお手伝いをさせていただくこと、小学校の子供たちに町会･自治会等のイベントに参加することを促すことを通じて、活動の輪を広げて地域地域の活性化に貢献することができた。また、小学校でイベントを企画し、子供たちとの絆深めることができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域の様々な活動や行事に参加することで、地域住民や他団体と信頼関係を築くことができた。

№.90

団体名

東深沢町会

補助金使用額

183,345円

補助事業に要した経費

472,260円

事業名称

子供も大人も みんなダンシング！

内 容

7月26日、深沢公園で、地域の住民の方々を対象に、子供たちが楽しめるゲームや、自然と体が動き出すような曲を流してみんなで踊ったあと、後半は中央に太鼓を置き、踊りが得意な地域の方とともに伝統的な盆踊りを行う。

実施に当たっては、PTA、深三会、東美会などにゲーム、模擬店、踊り指導や、近隣の交通の妨げにならないよう、自転車で来た方などの誘導をおこなうなど、相互に協力･連携することで地域の活性化につなげる。なお、町会の活動として実施していることをアピールし、町会としての一体感を持つために実施スタッフは昨年度作成した「東深沢町会」と表示されたユニフォームを着用して実施する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

第1部では、小学校の運動会で子供たちが踊った曲を流し、子供たちが楽しめるゲームを東深沢小学校PTAのお手伝いのもと実施した。第2部では、東美会

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

連携団体の東深沢小学校 PTA、深三会、東美会、東深沢商店街振興組合とも、緊密に連携しながら実施できた。特に、今年は事前に盆踊りの練習会を 2 回実施した回もあり。当日は明らかに昨年より多くの方が、盆踊りに興じている光景が見られ、大変盛り上がると同時に絆も深まることになった。

№91

団体名

東深沢中学校おやじの会

補助金使用額

66,287円

補助事業に要した経費

72,887円

事業名称

おやじの会が取り組む生徒たちと地域の大人たちの地域交流

内 容

8月、11月に多摩川、東深沢中学校で行う

･世田谷区主催のいかだレースへの出場

･お祭り等、地域イベントの運営面の手伝い及び催し物への積極参加

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

C

その理由

実際に事業を進めていくあたり、スケジュール調整等想定通りに進まないことが多かったため。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

概ね当初想定通りに連携できた。

№92

団体名

深沢･桜新町さくらフォーラム

補助金使用額

208,820円

補助事業に要した経費

211,880円

事業名称

景観･環境･歴史等の理解を深め地域への親しみや絆を広げる

内 容

当補助金を受け、例年通り情報紙「ニュースレター」の年2回発行を計画しています。引き続き地域の景観･環境･歴史や地域の話題等々の理解や親しみの醸成を図り、また講師を招請し「クビアカツヤカミキリムシ被害の広報」(7月開催予定)や桜や桜並木についての知識を得、地元の住民の皆さまと共に学び･話し合う機会として、「桜並木探訪会」(3月開催予定)を持ちたいと考えています。
あわせて、呑川親水公園と桜並木の清掃活動、クビアカツヤカミキリムシの発生状況チェックの定例化などを通して、地元の方々に地域の景観･住環境の保全に対する関心を持っていただきたいと考えています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

計画通り、ニュースレターを年 2 回発行し「クビアカツヤカミキリムシ勉強会」「お花見ま地歩き(樹木医の案内で)」主催しいずれも大勢の方に参加いただいた。また会員による呑川親水公園側道清掃、クビアカツカヤカミキリムシから桜を守るための見守り等の活動を実施した。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他 (　　)

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

例年協力･連携させていただいていた町会に加え(一財)世田谷トラストまちづくりが主催した会への参加や講師を派遣するなどこれまで以上の協力、連携がすすみ成果をあげることが出来た。

№93

団体名

深沢ぎんなんまつり実行委員会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

318,393円

事業名称

深沢ぎんなんまつり

内 容

2025年11月30日（日）、深沢小学校にて、小学校関係者と地域団体の有志が協力し、準備を行い、（小学校で採れたぎんなんを有志のメンバーで剥き、当日配布）開催する祭り。
模擬店やステージイベントも行います。
どなたでもご来場いただけます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

地域の絆を深める時間を作るために企画しています。評価としてはコロナ後2年目の開催でしたが協力体制が元のように戻ってきたとは思えません。このイベントを通じて顔見知りが増えて　助け合いや、地域防犯・防災にも取り組む基礎を作るも目的にはまだ時間がかかると思っています。明日にも震災は来るかもしれないのです。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（町会の会議でギンナン向きの協力者を募ってもらいました。）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

目標以上に協力･連携できたとは思えません。日曜日にイベントを学校でおこなうだけでしたら目標達成していると思いますが、準備を含めた日常から学校･保護者と地域が協力する体制を作って地域親睦できればと思っています。

№94

団体名

みしまの森学舎　あいさつ運動推進委員会

補助金使用額

34,451円

補助事業に要した経費

55,478円

事業名称

学校･家庭･地域の三位一体でのあいさつ運動

内 容

みしまの森学舎のあいさつ運動推進委員が中心となり、学校･家庭･地域に呼びかけ、あいさつ運動の普及･推進を図る。

①毎月1回推進委員と協力者がベストやリボンを着用して、校門や交差点などの街角に立ち登校する児童生徒及び通行中の方々へあいさつ運動を実施する。

②校門や街角に「あいさつ運動実施中」ののぼり旗を立て、学舎エリア全域で運動を展開する。

③児童生徒に「あいさつ運動ポスター」を募集し、学校周辺や町会の掲示板に掲示する。

　また、ポスターの絵を使用し年2回チラシを作成。全児童生徒に配布する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

･例年通り、学校･家庭･地域によるあいさつ運動が実施できた。

･推進会議の開催ができ、有意義な意見交換ができた。

･学校行事に合わせてのポスターコンクールが実施できなかった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

月1回(夏休み除く)のあいさつ運動が実施できた。各学校との日程調整が昨年度より上手くいき各校同日実施できたため地域を含め一体感を持って実施できた。今後も協力団体との共にあいさつうんどう継続したい。

№95

団体名

みんなのコミュニティさくら

事業名称

みんなのコミュニティカフェさくら

補助金使用額

111,811円

補助事業に要した経費

143,881円

内 容

毎月土曜日の午後に深沢8丁目のシニアスペース深沢にて開催。深沢8丁目の花とみどりの豊かな庭のある住宅の一角で、赤ちゃんから高齢者まで誰でも気楽に立ち寄って、”誰かさんと一緒”に過ごすことのできるコミュニティ-カフェを1年に12回開きます。心も体も和む手作りのお菓子とお茶を味わったり、一緒に過ごす誰かとおしゃべりしたりできる時間と空間を提供します。

高校教師・桜新町商店街での喫茶店店主を経て、平日は現在訪問介護福祉士として高齢者・障害者の介護をしている代表が、民生委員・児童委員を務め、さまざまな情報を提供したり、相談に応じたりすることもできます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

ほぼ毎月の開催が達成でき、多世代・多立場のコミュニケーションの時間と空間を提供することができました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

他団体の方々が当事業に参加してくださった回の事業終了後の時間を利用し連携の話し合いをすることができ、今後の連携の計画を立てることができたため、次年度以降も連携を継続したいと思います。

№96

団体名

祖師谷子ども健全育成の会

補助金使用額

115,089円

補助事業に要した経費

115,089円

事業名称

子どもの安全･安心　且つ　健全育成

内 容

全世代を対象として、以下の活動等を実施。

･毎月始め、祖師谷小の通学路にて、町会･自治会･祖師谷小保護者･地域住民の協力を得て、登校日に通学路に立って行う「見守りあいさつ」キャンペーン

･4月中の下校時に、、新1年生の安全を見守り地域住民の有志が付き添う「安全ボランティア」

･9月の3連休初日に、子ども達に関わる多くの団体が参加･協力して行う「そしがや夏まつり」

･12月に、町会･自治会と児童･教職員が一緒に行う「地域清掃」

･3月に、祖師谷小児童･保護者･教職員等に読み句･絵を募集して作製した『そしがやいろはかるた』を使い行う「かるた大会」

･お世話になっている地域の方々をお招きして実施する1･2年生との「ふれあい給食」

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

復活して2年目の「そしがや夏まつり」を今年も盛大に開催することができた。夏の猛暑を想定し9月に時期を変更したが、多くの団体の参加協力があり、たくさんの来場者でにぎわった。また、PTA･地域の協力を得て行う毎月のライトくんDAY「あいさつ見守り活動」、新1年生の4月中の下校時に付き添い見守りをする「子ども安全ボランティア」祖師谷小児童･教職員･地域が一緒に行う「地域清掃」、児童が参加の「かるた大会」1年児童がお世話になっている方々を招いて行う「ふれあい給食」を実施。顔と顔で繋がるをコンセプトに前年度と同様の事業･活動を行うことができたことは大きな成果であった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	主な事業である児童の安全な登下校に貢献している「ライトくんDAY」「子ども安全ボランティア」開催時期を変更した「そしがや夏まつり」にもたくさんの団体、地域の方の参加･協力のおかげで、連携が深まり、成果を上げることができた。

№97

団体名

成城フラワーメイト

補助金使用額

38,727円

補助事業に要した経費

110,582円

事業名称

お花でつながる　成城の輪

内 容

年間を通し、成城ホール入口、富士見橋で、全世代を対象として、ポットや花壇の植栽と手入れを必要に応じて会員が行っている。12月には寄せ植講習会、2月、7月にはさぎ草講習会を区の広報板や自治会報で呼びかけて地域の方たちと共に楽しんでいる。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

花壇については無理なく活動ができた。真夏の活動は控えた。寄せ植えのサロンも一般の参加者が多く盛況だった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

2回のフラワーサロンで協力できたので

№98

団体名

「子どもぶんか村」発表会実行委員会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

460,903円

事業名称

第 21 回「子どもぶんか村」発表会

内 容

3月22日（土）9:00～16:00に、希望丘小学校にて、全世代を対象として、「子どもぶんか村」8つのくらぶが1年間の活動の成果を発表する。発表の形式は、舞台発表・展示発表のほか、お茶席・ワークショップ・イートインコーナーがある。

各くらぶから選出された子ども・若者と地域の大人で実行委員会をつくり、子ども・若者から実行委員長、副実行委員長、書記が選出され、およそ60人で運営していく。発表会を成功させるために、スローガンを決め、ポスターをデザインし、係決めをする。司会、受付、会場、音響、照明、中継など自分の所属するくらぶを超えて全体の係として下支えする。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

出演する演者（小学生・中学生・高校生）200人を超え、当日の来場者は405人、地区委員・講師・保護者などの関係者が89人であった。前日の準備・リハーサルには演者とお手伝いの方々を含めて350人の人手を記録している。年々各クラブの発表が充実してきており、関わって下さる方の人数が増えている。町会はじめとした地域の方々の支えの中で定着し育っているのを感じた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　発表会には来賓として多数の役員の方に観ていただいた）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

子どもたちは何らかの理由でやめていくけれどそれで終わりではない。そのまま地域に暮らし続けることに変わりなく、きっかけがあれば今度は支える立場になって戻って来てくれる。大切なのはその時たのしかった記憶だと認識した。

№.99

団体名

希望丘小学校と会

補助金使用額

219,992円

補助事業に要した経費

219,992円

事業名称

子供達の明るく希望あふれる未来へ向けた学校･地域との連携事業

内 容

年間を通じて、希望丘地域にて、全世代を対象として、希望丘小学校在校生の父親が中心となり、子供達の健やかな成長と地域の健全なる発展を目指した事業を展開する。

･地域行事･防災訓練の運営･参加協力を通じた地域との交流

･地域と学校の保護者･子どもをつなぐスポーツ大会やワークショップに開催

･地域行事･学校行事におけるパトロール

･オール世田谷おやじの会、世田谷区小学校PTA等が主催するスポーツ大会へ参加し、他団体と交流を行う

･活動計画検討会、活動報告会の開催など

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

町会･自治会･PTAと連携しながら、地域ネットワークを強固なものとして、防犯や広域災害等への対応力を向上させるという当初の目的が叶った。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

相互にイベント等で協力し合う頻度も多くなっている

№100

団体名

デ･バンデス

補助金使用額

103,837円

補助事業に要した経費

103,837円

事業名称

千歳台を盛り上げよう！楽しんで暮らせる千歳台にしよう2025

内 容

2025年5月、8月、他に、千歳台小学校地域で、児童･青年･保護者を対象として、千歳台小学校在校生の家族、特に父親を中心に活動しています。子供たちが笑顔で元気に生活できる環境を千歳台小学校･めばえの会･廻澤町会･OB･地域の方々と協力のうえ、運営（サポート）しています。千歳台小学校地域のイベント等に積極的に参加し、地域の方々とのコミュニケーションをとり、地域の子供たちの成長を一緒に見守っています。地域と小学校を結び付け、まだ気づいていない千歳台地域の魅力を発信します。取り組みとしましては、千歳台小学校入学歓迎会カレーパーティー＆親子スポーツ大会（5月）、学校キャンプ（8月）などを行います。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

コロナ禍では出来なかった飲食を含めたイベントを行うことができ、千歳台小学校のイベントを盛り上げることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

町会の活動には積極的に協力･連携できた。小学校のイベントでも、お互いに協力できた。

№101

団体名

東京テラス防災自治会

補助金使用額

111600円

補助事業に要した経費

111,600円

事業名称

東京テラス「防災でつながるまちづくり」事業

内 容

6月25日：安否確認訓練、9月：秋の避難訓練、10月：テラス祭り（予定）に、東京テラス内コミュニティルームなどテラス内複数施設にて、全世代を対象として以下を実施。

安否確認訓練では、災害時の相互の安否を確認するとともに、災害によるマンションの安全状況を確認し、住民と相互に情報共有する。

避難訓練では、災害時のテラス内一時避難所の開設訓練及びテラス内段ボールベッドなどの組み立てを経験することで、災害時に助け合える体制を作る。

その他テラスまつりでは、住民相互に絆つくり、顔見知りを増やすことで、安心、安全なコミュニティ形成を醸成していく。また防災塾の開催などで、防災への備えやマンション設備の情報共有などで、防災への備えやマンション設備の情報共有などで、いざ災害というときにみんなで助け合い、備えができる集合住宅を目指していく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

計画していたイベント時に、メンバーがジャンパーを着用することにより、スタッフの区別が目視できた。また防災自治会メンバーが地域で活動していることが住民に視覚的に認知されることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	ふれあいまつりにおいて、実行委員会に一員として参加し、運営に携わった。避難所運営訓練、テラスまつりにおいては、連携までに至らなかったが、話し合いの場を持つことはできた。

№102

団体名

バージの会

補助金使用額

24,989円

補助事業に要した経費

60,826円

事業名称

バージの会講演会

内 容

12月から2月に、船橋まちづくりセンター・船橋児童館等にて、全世代を対象として、以下を実施。

・バージの会講演会では、地域の方々の共通の課題を見つけ、それについて企画を立てます。（令和6年度は地域に住む浜本春華さんに思いを語っていただきました。）

・子育てサポーター講座では、地域の子育て世代を応援する地域の方々を対象に企画します。（令和6年度は元日日大分離の教授井上仁さんと学習支援ボランティアの「桜んぼ塾」の学生の皆さんからお話をして頂きました。「子どもの居場所を考える～社会的養護の視点から～」

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

世田谷区教育委員会生涯学習課文化財係の協力を得て、船橋・千歳台の歴史と民俗についての講演会を開催し、町会、自治会、学校関係、行政関係など、多くの参加者があった。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

チラシ提示、メルマガ発信、地域の方、児童館職員の当日の協力、地域の古老の参加など、予想以上の協力をいただいた。また、参加者から高い評価を得た。

№103

団体名

船橋会

補助金使用額

240,000円

補助事業に要した経費

356,480円

事業名称

ちとふな盆踊り

内 容

令和7年8月17日(日)、千歳船橋駅前広場にて、全世代を対象として、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる盆踊り･飲食の販売等を通じて、近隣住民との親睦と絆を深める。
また、町会と商店街だけでなく、地区にある関係団体に準備から出店、片付け等、多岐にわたり協力をお願いすることで、町の活性化、またいざという時に助け合える関係性が生まれる。
当日は、町会･商店街の紹介ブースを作り、活動への理解、地域の防災力向上や加入者増を狙う。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

町会と商店街だけでなく、地区にある関係団体が実行委員会、提灯付け、当日の準備から出店、片付けまで協力してくれて、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる盆踊りを開催することができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

昨年は千歳船橋駅前商店街振興組合と共催で開催したが、今年から北沢法人会も共催団体tpして参加した。日赤奉仕団も当日の暑さ対策として本部に控えてもらい、安全面に配慮したお祭りを開催することができた。

№104

団体名

船橋小学校オヤジの会

事業名称

児童中心のイベントを開催
することで船橋地区における絆を深める

補助金使用額

159,932円

補助事業に要した経費

400,932円

内 容

8月に実施をする主催イベント「学校に泊まろう会」では、船橋小学校で、児童に災害発生時の避難所を想定した宿泊訓練を体験してもらうことで、地域の防災対応力と、防災意識醸成を図る。主な内容として、日中は地域消防署と連携をした消火訓練、アルファ米を使用した炊き出し訓練、夜間は校内の体育館と多目的室にテントを張った宿泊訓練を実施する。町会、小学校PTA、児童館、消防署など各団体と相互に協力をし、地域の絆を深め、災害発生時の連携強化を図る。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

主催イベントである「学校に泊まろう会」と「校庭バーベキュー」を年間計画通り実施することができた。毎年の恒例イベントである「学校に泊まろう会」では221名の児童が参加をし、災害時の避難所を想定した宿泊訓練や消火器訓練を体験してもらうことで、地域の防災対応力と防災意識醸成を図ることができた。また、地域のお祭り行事に模擬店を出店することで、町会や地域住民との絆を深めることができた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

町会主催のお祭り、防犯行事に参加をすることで、地域行事の活性化に貢献できた。今後も町会、地域活動団体と相互に協力を行い、連携強化に努めていきたい。

№105

団体名

学び場いとをかし

事業名称

勉強だけじゃない様々な“学び”を通して地域でつながろう

補助金使用額

110,838円

補助事業に要した経費

110,838円

内 容

月1回の土曜日の午後、主に希望丘集会所にて、児童・青年・壮年・中年・高齢者を対象として以下を実施。

・児童の学習支援

・切り紙・写し絵や季節に合わせた工作など手先を使う活動も取り入れて、豊かな体験学習の機会を作る。

・学びを深めるために、地域の方々を講師としてお呼びし、講座を実施する。

・地域のイベント等に積極的に参加し、地域との結びつきを深める。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

今年度も参加者が途切れることなく活動ができた。口コミで会員が増えるのはスタッフ側からも嬉しい限りである。プリントの時間と工作の時間のメリハリもでき、子どもも大人も学べる楽しい時間が持てている。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（ 町会、自治会のおまつりでチラシなどを配布）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた

B　目標としていた程度に連携・協力できた

C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

地域のまつりに参加することで自治会や地域活動の団体と知り合える機会にもなり、お互いのメリットになっている。イベント時には大学生や高校生が手伝いに来てくれて、今ここに来ている子たちも成長した時に地域活動に取り組めるような循環を少しずつ築いていると思う。

№106

団体名

うなかふぇ

補助金使用額

82,800円

補助事業に要した経費

284,832円

事業名称

カフェを通じた多世代交流会

内 容

毎週土曜日（カフェ）、年1回（講演会）、宇奈根地区会館で、宇奈根地区会館の一部をお貸しし、地域の多世代の方を対象として、お茶をしながら、また講演会を通して、コミュニケーションを深めてもらう。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

講演会では地域の多世代の人に参加していただき、講演者、参加者と交流を深め、毎週のカフェではお茶を飲みながら会話を楽しむことで地域の輪が広がると思う。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

使用施設のこと、地域の高齢者のことそれぞれに協力･助言をいただき活動をしました。来年度も協力をお願い活動していきたい。

№107

団体名

砧南グリーンズ

補助金使用額

152,987円

補助事業に要した経費

172,987円

事業名称

みずとみどりとみなみを見守る学校ビオトープ作り

内 容

月に1回程度主に日曜日の午前中、砧南小学校内みんなのみなみ池ひろば、他校k内公園などで、乳幼児・児童・青年を対象として、砧南小学校の保護者・卒業生の保護者・地域の人が連携し、子どもたちとともに安心して毎日を送れるよう、学校ビオトープを大人と子どもが協力して作る「みんなのみなみ池ひろばの会」を開催する。ひとばや校区内の自然観察とスケッチ、自然素材をデザインしたステンシル作成、夜の昆虫観察会などを実施する。また年度の活動成果を多摩川子どもシンポジウムで、子どもたちに発表してもらう。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

活動場所である砧南小学校で集合して活動することで、新一年生など低学年を中心に、初めて活動に参加する人がたくさんいたこと。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（活動場所として使用、PTA主催のおまつりに参加）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

砧南小学校とは先生をはじめ、協力連携が十分できたと思う。

№108

団体名

野川ドッグエリアの会

事業名称

犬の飼い主の地域ネットワークで、
防犯やマナー向上をめざす

補助金使用額

239,835円

補助事業に要した経費

252,857円

内 容

毎月1回、土日の午後に、きたみふれあい広場の一角、野川緑道の横にある220㎡の敷地で、青年・壮年・中年・高齢者を対象として、16周年を迎える小規模ドッグラン「ドッグエリアのがわ」を実施。また、年数回しつけとマナーアップ講座を開催し、それらを拠点にマナー向上の啓発を行う。この「ドッグエリアのがわ」を発信地として、広くペットの存在も含めた防犯・災害対策も考える。具体的には、喜多見北部町会と年間行事予定を共有し、地域清掃、防災訓練（ワンちゃんの防災相談会）などの活動で連携する。防犯面では、喜多見わんわんパトロール隊と一緒にイベントを行うことで協業していく。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

月1回の小規模ドッグラン「ドッグランエリア」は17年目に突入。上昇を続ける年間利用者数はのべ1900名と前年比110%。1口100人上の利用が6回。コンスタンスに50人以上の利用があり、若い世代の家族連れを中心に、利用者が広がり続けている。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた
B　目標としていた程度に連携・協力できた
C　目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

街の清掃や防災イベントを共催。目的が違う団体と協力することで、自分たちの事業の在り方を見直すいい機会になった。

№109

団体名

喜多見わんわんパトロール隊

事業名称

喜多見わんわんパトロール隊の
仲間づくり、まちづくり事業

補助金使用額

46,400円

補助事業に要した経費

125,800円

内 容

毎日の散歩時、世田谷区の喜多見地区および砧地区を中心に多摩川河川敷近辺で、全世代を対象として、愛犬と共に地域のパトロールを行い登下校時の児童の見守りや地域の防犯に目を配ります。小学校と共催で犬とのふれあい教室を開催します。地域の方々にシニア犬の飼育についてセミナーを開催したり動物とのふれあいの機会を作ります。多摩川近辺を散歩パトロールし清掃活動を行います。野川ドッグエリアの会と共催で災害時の犬のしつけについて講座を開催します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

インフルエンザやコロナの流行で中止せざるを得ない行事があったが、恒例の行事は、例年通り実施で地域の方々に好評をいただいた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

今までの活動実績を認められ他団体から新たに共催行事開催をもちかけられた。

№110

団体名

[ご当地]家族会

事業名称

地域の人々に出会いの場所を提供し、
出会いの情報を発信する事業

補助金使用額

161,318円

補助事業に要した経費

221,318円

内 容

月に1回から2回、さろん砧家、砧町自治会大広間、祖師ヶ谷大蔵駅横広場、祖師谷商店街にて、全世代を対象として、以下を実施。

(1)落語道楽塾‥落語の基本を学び、聞く、噺す、創る、を体験して楽しむ。

(2)清志凡･セミナー‥健康背骨体操を体験し、目標達成方法pdcaを学ぶ。

(3)街･コミ･さろん‥世間話や雑談をするための居場所に参加して交流する。

(4)[ご当地]タレントスカウト大会‥祖師谷駅横の広場で特技の歌、ダンス等を発表して楽しむ。入賞すると賞金ももらえる。

(5)節分豆まき隊‥殻付きピーナッツを小袋に入れて、商店街で撒きながら練り歩く。道行く人々と会話を楽しみ、チラシを配布する。

(6)凡从･はしん‥身近な法律知識や会計知識を楽しんだり、簡単な粉骨･散骨の方法を学び、生活や経営の不安や心配事を解消し、安心する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

C

その理由

会長の体調不良と、具体的呼びかけの行動が足りなかった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった C	落語や歌等の自己表現行動に参加し G･PDCA を学び実行し、背骨ヨガで体を動かすことは、誰にも必要だと思われる。

№111

団体名

「ハミガキロック」制作チーム

補助金使用額

243,820円

補助事業に要した経費

246,333円

事業名称

「ハミガキロック」制作プロジェクト

内 容

2025年中に、活動は砧地区内、発信は区内全域にて、全世代を対象として、正しく楽しい歯磨きの方法を学ぶことをテーマに、地域の子どもから高齢者までが参加してダンスをする取り組みを実施し、健康づくりと地域のつながりを促進します。これにより地域にゆかりのある団体や個人が協力し、交流の場を創出します。その様子を地域のレガシーとして映像に残し次世代へ継承します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

年末年始を挟んだことに加え、一部に未経験の作業工程が含まれていたことや、制作を進める中でチームから多くのアイデアが生まれたことで、クリエイティブ面に想定以上の時間要し当初のスケジュールより期間要しましたが、結果として予想以上の成果を得ることができました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

初めての取り組みが多く、不明点も多々あったが、その都度関係者に確認･相談を重ねることで対応してきました。その過程でコミュニケーション機会が増え、関係者間で共通認識が深まり、同じ目標に向かう仲間意識の醸成にもつながったと思います。

№112 **団体名** 砧むらおばちゃん会議	**事業名称** くつろぎ処：おおがいさんち
補助金使用額 187,410円	**内 容** 毎月、「くつろぎ処：大海さんち（砧4-27-4）、「LOOPダンススタジオ（桜丘4-24-20）」、「子ども食堂ごはん村：砧ふれあいくちなしの家（砧8-26-33）」で、全世代を対象として以下を実施。 ・「砧むらだより」を毎月発行し、「くつろぎ処：おおがいさんち」のイベント情報を掲載。 ・おしゃべり会＋小さい歌う会 ・LOOPダンス体操（桜丘2-26-1のスタジオで、ヨガ・筋肉ほぐしなどの体操） ・子ども食堂ごはん村（告知協力とボランティア参加） ・お一人様研究会（NPO煌めく返り花との共催） ・年2回ぐるぐるキヌタを実施（砧4-25-1NPOのつどい、グループホーム砧、砧4-26-1NPO煌めく返り花と共催。3か所をぐるぐる回るスタンプラリーや高齢者医療相談、フリーマーケットなど）
補助事業に要した経費 192,410円	
事業評価 A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	**その理由** ご近所の一人暮らしの女性にとって、おしゃべり会は最大の楽しみであり、情報を得ることができる。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	講師として専門家の話を聞いて対応するべきと思った。

№113

団体名

特定非営利活動法人
煌めく返り花

補助金使用額

66,415円

補助事業に要した経費

69,571円

事業名称

ぐるぐるキヌタ

内 容

年間2回(4月20日・9月27日)、児童・青年・壮年・中年・高齢者を対象として、砧4丁目で活動する3団体が協働して開催するイベントです。子どもから90歳が参加します。活動場所がそれぞれ徒歩1分以内にあるという地の利を生かしています。参加者には、3か所をぐるぐる歩き、知り合いを増やしてもらいます。
私たちの団体は、あなたの頼り先の一つになりたいと考えています。ゆっくり椅子に座り、足水で涼をとりながらおしゃべりをできたらと思っています。特に、高齢期の住い、健康、福祉用具などの相談を無料で受けることができます。また、必要に応じより適切な相談先をお教えすることもできます。
お子さんたちには、スタンプラリーとゲームを用意しています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

4月:参加者はまずまずの結果となった。クロージングイベントでは、近隣3団体の方や地域住民とダンスで結束を深めることができた。
9月:参加者は少なめであったが、その分リピーターの方とじっくりとお話をすることができ、より綿密な関係性を築くことができた。クロージングイベントのシャボン玉では、会員の特技を活かして、非日常の時間・空間を地域の参加者と共にすることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他 (団体を訪ね説明し、配架をお願いした。)

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携・協力できた
B　目標としていた程度に連携・協力できた
C　目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

世田谷区社会福祉協議会、地域ケアこころのクリニック、砧ボランティアビューローの団体とは密な連携をとり、準備や告知を互いに助け合いおこなった。昨年度までの活動ノウハウから、スムーズに連携をとることができ、滞りなく準備・告知を進めることができた。

№114

団体名

ハッピーリーフ

事業名称

子どもキッチン･だれでもワークショップ
＆みんな食堂と農業体験会

補助金使用額

208,720円

補助事業に要した経費

273,312円

内 容

1～2か月に数回で年8回、全世代を対象として、祖師谷大蔵駅から近いサロン砧家で『子どもキッチン･だれでもワークショップ＆みんな食堂』を開催する。
子供向けお料理教室「子どもキッチン」では完成したお料理を「みんな食堂」として地域の方達を募り一緒に食事会を行います。「だれでもワークショップ」では講師を招いてどなたでも参加できるワークショップを開催し、手作業をとおして多世代での交流をはかり、終了後は希望者を募り、「みんな食堂」で食事会を行います。「みんな食堂」は一人で食事をするよりみんなで食事をすることの喜びを感じていただき、居場所作りで絆を深めることを目指します。
さらにコラボイベントで世田谷区鎌田の「かわべ農園」で農業体験会を行い、子供達に大人達とのふれあいと食育を学ぶ会を開催します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

年間計画通りに全ての事業のイベント開催ができて、少しずつ新規、リピーターの方も増えてきて、参加者の皆さんからの感想で好評をいただきました。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	団体として「地域の絆事業」の活動も2年目となり、令和7度のチラシの掲示を協力･連携団体へお願いにお伺いしたとき、会長さんに「今年度はチラシ掲示だけでなく、空きスペースにチラシ設置もいいですよ」と快く言っていただきました。

№115

団体名

百年桜の会

補助金使用額

141,667円

補助事業に要した経費

141,667円

事業名称

「砧っ子夏祭り」運営サポート並びに
「百年桜」の手入れ補助

内 容

四季を通じて、特に7月中旬に、砧小学校周辺にて、全世代を対象として、毎夏7月中旬に砧小学校で開催される「砧っ子夏祭り」の会場において、主にPTAが集めた各家庭で使わなくなった「リサイクル品」をゲームの賞品にして、子供達・各ご家庭に還元する。そのブースの運営。並びに世田谷百景にも選ばれている校庭の「百年桜」を、年3回（春・夏・秋）に、除草手入れ・保全を行い（年間計画書参照）、学校にゆかりのある保護者と交流を深め地域の活性化を図る。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

校舎建て替え工事のため、校庭にある百年桜の木を伐採しなければならず、会員入江先生　助言の元、児童が無事植樹出来たのは素晴らしい実績になった。夏祭りの運営は中学生ボランティアの助けもあり、大きな混乱もなく運営出来た。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた
B　目標としていた程度に連携･協力できた
C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

学校行事を中心に、近隣町会、団体が主催する行事への会員の多くが参加。

№116

団体名

上北沢小学校おやじの会

補助金使用額

227,500円

補助事業に要した経費

310,312円

事業名称

上北沢小学校の児童たちの健全育成

内 容

学校や地域とも連携し、児童の健全な育成に寄与できる各種催事を展開します。

当会が主催で行う「おやキャン」は、防災に関する意識を高めるとともに、子どもたちが保護者から離れ、集団生活を送る体験を通じて、「自ら考え、周りと協力できる力」を育むことを目的としています。防災に関する知識をクイズや謎解きで楽しみながら体験し、キャンプファイヤー、備蓄米を使用した食事、テントおよび体育館の宿泊などを行い、災害発生時から保護者が迎えに来るまで、子どもたちが避難所で安全に待機できるようにする力を醸成します。

また、「火の用心」では近隣の夜回りで火の用心を呼び掛けることにより防災意識を高め、安全・安心な町づくりの一助となることを目指しています。

その他、小学校・町会・児童館が主催する各種行事への協力・参加を通じて地域の活性化にも寄与します。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

予定していた催事を計画通りできた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	地域のお祭りや学校の催し物など、町会や PTA と協同で相互集客やスタッフとして運営を行い、参加した児童･保護者から高評価を得られた。

№117

団体名

世田谷区立八幡山小学校おやじの会

補助金使用額

233,000円

補助事業に要した経費

293,000円

事業名称

八幡山交流･地域ふれあい活動事業

内 容

町会、PTAと連携し･協力した体制によって地域の子どもたち、住民参加による夏季「花火大会」を実施する。

「花火大会」を実施するにあたり、町会やPTAと企画段階から企画アイディアや地域住民各層のニーズを持ち寄り、密に連携することによって、町会、

PTAとの関係性を深め地域運営のノウハウを共有するともに、地域人材の育成や町会組織の活性化にも貢献する事業とする。

また、防災知識を共有するプログラムを組み込むことで、地域住民の防災意識を高める。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

当初の計画通り、八幡山町会や八幡山小学校PTAと密に連携･協力する体制を構築し「夏祭り」「花火大会」「防災訓練お泊り会」の各イベントを滞りなく開催することができました。･地域交流の促進：子どもたちを中心に、保護者や地域住民など幅広い層が参加し当初の目標（1回あたり最大350名規模）に近い集客を実現できました。これにより、住民同士の顔の見える関係性が築かれ、地域の交流を深めるという目的を概ね達成いたしました。･連携体制の強化：企画段階から町会やPTAと意見交換を行うことで、各組織のノウハウ共有や役割分担がスムーズに進み、地域一体となった運営体制を維持することができました。･公益性への寄与：特に防災訓練お泊り会」では、児童館とともに連携したプログラムを通じて住民の防災意識向上を図るなど、地域の安全･安心に資する活動を展開できました。大きなトラベルもなく、予想していた通りの地域コミュニティの活性化と絆の深化という成果を得ることができたため、本自己評価といたします。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった A	想定を超えた団体間のネットワーク構築　当初計画していた八幡山町会やPTAとの連携に留まらず、八幡山商店街（八栄会）や地域のスポーツ団体（八幡山FC、八幡山レッドソックス）さらには上北沢児童館や青少年地区委員会とも、企画団体から緊密な協力体制を築くことができました。･リソースの相互活用による相乗効果　各団体が持つ専門知識やネットワークを持ち寄ることで、周知活動が飛躍的に効率化されました。例えば、スポーツ団体の体験会とおやじの会のイベントを相互に案内し合うなど当初の計画になかった「双方向の協力関係」が自然発生し参加の層が大幅に広がりました。新たな共同事業の創出　一本補助事業の枠組みを超えて町会が主催する年末の防犯パトロールにおやじの会が協力したり商店街の祭りにスタッフを派遣したりするなど　年間を通じた強固な信頼関係が確立されました。これにより、特定のイベントだけでなく、地域課題（防犯･防災･青少年の育成）に対して即座に連携できる「まちの即応力」が一段階に高まったと確信しています。

№118

団体名

八幡山青年会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

341,951円

事業名称

八幡山青年会　子ども囃子

内 容

各催事のとき、八幡山の郷土芸能である、子ども囃子を演奏して、伝統芸能の伝承を行っています。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

ほぼ年間計画通りに子ども囃子を披露することができた。日々の練習を通して、演奏する子ども達とその保護者を中心に地域での繋がりが深まった。また地域のイベントに参加することで、イベントを盛り上げ、町内外の幅広い年齢層の顔見知りを増やすことにつながった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域のイベントに積極的に参加することで伝統芸能でもある子ども囃子を多くの方に聞いてもらうことが出来た。また、子ども達やその保護者、イベント参加者との交流を通じて、地域住民の絆を深め、地域の安全･安心の向上に役立つことが出来た。

№119

団体名

親水テラス音楽会実行委員会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

824,237円

事業名称

絆をつなぐ”音楽プロジェクト”

内 容

10月:地域の憩いの場である祖師谷公園の親水テラス周辺を会場に、地域団体による模擬店の賑わいとコンサートで構成する地域交流事業「いこいのコンサート」

2月:コンサートに出演する小学校または中学校の吹奏楽部を対象に、音楽に親しむ児童生徒たちがプロ奏者の指導と演奏に接する機会とする「吹奏楽セミナー」

また、保護者の方々には音楽を通したまちづくりの思いを伝え、事業の支え手を広げる機会にする。

3月:桜の名所である祖師谷公園の桜満開の時期に、10月同様の音楽空間を創出する地域交流事業「さくらフェス」

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

本事業の中心である祖師谷公園での音楽イベントは秋春とも天候に恵まれて季節を満喫する地域交流の機会となった。併せて都立祖師谷公園開園50周年の取り組みへの協力で新たな参加団体が繋がり、協力している公園主催の防災イベントも多くの区民参加の催しとなった。また事業計画を変更して開催した「初めてのバルーンアート」は地域の子どもたちやファミリー層の交流の機会となり、より身近に地域活動を実感してもらうことができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

地域の人や団体、都立公園の地域環境を含めて、更には、地域の農産品や商品の紹介や企業･店舗の協賛など、本事業が取り持つ縁と交流が増えた。

№120

団体名

特定非営利活動法人芦花公園花の丘友の会

補助金使用額

123,567円

補助事業に要した経費

234,897円

事業名称

花いっぱいの公園づくりと活気ある地域活動の場所づくり

内 容

公園を彩る花々に囲まれながら季節を感じながら楽しめるイベント「芦花公園花の丘フェスタ」を開催する。フォトスポットの設置や参加型企画の他、地域性のあるキッチンカーや模擬店等で賑わいを演出し、世田谷を彩る花々の魅力を発信しながら、日常とは違った地域交流や憩いの時間と場を提供する。

・4月：:高遠コヒガン桜まつり
・6月 ：アナベル紫陽花まつり
・7月 ：七夕まつり(短冊飾りあり)
・9月：ヒマワリまつり
・１０月：コスモスまつり
・１１月：ハロウインまつり(子供対象の仮装コンテストあり)
・2月：餅つき大会(餅つき体験あり)
・3月：菜の花まつり

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

・天候に恵まれ、計画通りにイベントを開催することができた。・多くの区民の方々に花に囲まれた日常とハレの場の両方を提供できた。・公園管理者と緊密に連携がとることができた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	ポスター等の掲示やスタッフの手配等、ほぼ年間計画通りに連携団体と相互に協力し、事業が完了できた。

№121 **団体名** どんぐりのおうち	**事業名称** 楽しいことといっぱい！こども感動体験プロジェクト
補助金使用額 204,000円	**内 容** ①「こども」「保護者」「地域住民」との交流の場を創出し絆を深め、地城の活性化を図る。 ②蘆花恒春園をメインフィールドに こどもの居場所づくりをする。 ③誰もが臆することなく平等に集える公園で、こどもが主役となる、ハロウインイベント(11月)、クリスマスイベント(12月)を開催する。 ④公園の木の実など、自然素材を使った工作教室を定期的に開催する。こどもが感動する体験、経験をサポートする。
補助事業に要した経費 222,618円	

事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	**その理由** ・今年度は、主に粕谷・烏山地域の団体と連携し、天候に左右されない屋内会場でイベントを開催した。当初予定していた場所とは異なる会場での実施となったが、状況に応じて柔軟に対応したことで、新たな団体や支援者とのつながりが生まれ、地域の絆を実感できる機会となった。屋内ならではの落ち着いた環境の中で、参加したこどもたち丁寧に関わることができたことも大きな成果であった。こうした交流を通じて地域のつながりが広がり、今後の活動の基盤づくりにもつながった。これからも、こどもたちが安心して過ごせる場づくりを大切にしていきたい。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（ ）

連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携･協力できた B 目標としていた程度に連携･協力できた C 目標としていた程、連携･協力できなかった B	**その理由** 当初予定していた活動内容の一部を、地域団体の体制や状況に合わせて見直す必要があったが、新たな協力団体との連携により季節行事を実施でき、地域のつながりを広げる取り組みを進められたため、概ね目標どおりの成果となった。

№122

団体名

芦花サポーターズ

補助金使用額

248,000円

補助事業に要した経費

274,883円

事業名称

地域と学校との結びつきを強め　災害、防犯に強いまちづくり

内 容

・毎月、地域の方同士、地域の方による中学生、へのスポーツ指導や交流などをできるようにする。

・毎月、地域の方同士の交流をスポーツなどを通しでの場をづくる。

・１１月、2月の区民センターで開催される文化祭や区民センター祭りで地域の方と一緒に中学校の生け花部の生徒が生け花展示のサポート。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

バトミントンによる交流により地域の人と子供との関係が深まれたため。粕谷区民センター祭りでは生け花だけでなく粕谷会の出店の手伝いもいただけた。テニスの回数を多くの方が参加できるように週2回に増やし顔見知りの絆が深まった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

地域の方と中学生等の交流経験が日常でも挨拶出来る等の関係きずけた。

№123

団体名

烏山上町会

補助金使用額

250,000円

補助事業に要した経費

525,333円

事業名称

ちとから･かみちょうフェス（かみフェス）

内 容

地元音楽活動グループや地元小中学校自動生徒の音楽やパフォーマンス活動の
発表。また、協賛によるお楽しみ会(催しの最後に抽選するなど)。その他、町会活動のPR、防災･防犯の活動の一環として、警察･消防の啓発も行う。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

初回なので無我夢中で取り組みました。イベントに慣れた団体、人と連携し、予定表通りに進められた。出演者も時間配分の中で、最高のパフォーマンスをしていただいた。烏山にゆかりのある方々と一緒に良いイベントを作り上げることが出来た。総合的に考えて、すべてがよかった。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

協力する皆さんが、それぞれ慣れた方々だったので、無駄なく目標に近づけた。皆様と連携をとって進める事で、新しい関係を築く事が出来た。

№.124

団体名

烏山子どもの文化ネットワーク

補助金使用額

157,380円

補助事業に要した経費

239,446円

事業名称

セロ弾きのゴーシュ～子どもと共に楽しむコンサート

内 容

10月に昭和信用金庫しあわせプラザにて、宮沢賢治作品「セロ弾きのゴーシュ」を題材にした企画になります。日本でも著名作家である宮沢賢治の作品を題材にして、音楽はどういうものかを知り、動物や周りの人々との触れ合いで主人公がさまざまな角度で成長していく過程を知る機会になります。一方、発表の場の舞台美術を作るワークショップ、専門家による言葉の表現を体験するワークショップや歌のワークショップなど多彩な活動を楽しむことができます。最後には演奏講師の生演奏と共に参加者の作品を飾った舞台で、ナレーターとのコラボレーション、オペラ歌手との合唱などを加味した贅沢なコンサートがあり、地域の子どもから大人まで多世代の方に音楽とパフォーマンスの舞台を楽しんでいただきます。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

8月24日に、粕谷の美術家のｱﾄﾘｴで「ぶたいびゅつをつくろう」ワークショップを美術家が実施、子どもと大人20名が参加して、コンサート当日の舞台の飾りを一緒に作りました。10月10日は南烏山の昭和信金のしあわせプラザで、その飾りを使って、セロ弾きのゴーシュのお話を思い起すような舞台背景を設置しました。10月11日「ことばと歌のワークショップ」を3人の音楽家が実施26人の参加者が体験しました。同日午後には、本番の「子どもと共に楽しむコンサート」を6人の講師が95人の参加者と共に実演しました。プロの芸術家と、ものづくり、語り、歌を地域の参加者と共に作り上げるコンサートの舞台は、多様な人たちがつながりあって作り上げる祭りとなりました。この事業は、地域に生活する実行委員たちが、非日常なアートを使って、身近な空間と地域の芸術家と地域に住む子どもや大人を巻き込んで、日常をわくわくする人の繋がりと空間に変えました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	実行委員のメンバーが住んでいるなど、関係のある町会自治会と協力し連携を深めることができました。具体的には、廻り沢町会では町会長と直接面談した上でチラシの配布をしていただきました。上祖師谷自治会ではチラシの配布をしていただき、私たち側からは、ろかまつりに出店スタッフとして協力しました。粕谷町会では、チラシの回覧をしていただきました。このような地域の町会自治会との協力･連携を更に進めていきたいと思います。

№125

団体名

給田小わんわんパトロール

補助金使用額

62,290円

補助事業に要した経費

63,170円

事業名称

子ども達に安全で犯罪に強い地域を作るわんわんパトロール

内 容

メンバーや地域の小学校の児童に協力をしてもらい作成したお揃いのバンダナを愛犬や飼い主さんが装着してパトロールしている。バンダナを見て子どもたちが「わんわんパトロールだ!」保護者は「ありがとうございます」と声をかけていただくことも多い。メンバー同士が挨拶をするということが日常的に行われており、不審者から地域の子ども達を見守っている。保護者に不審者情報が流れるとPTA校外委員会から連絡が入り、メンバーに一斉メールでパトロールの強化をお願いしている。

愛犬が家族の一員というだけでなく、社会の一員として受け入れてもらえるようにマナーを守ってパトロールするように啓蒙を行っている。

地域の小学校児童に描いてもらったポスターを地域に貼り協力してもらえるようお知らせしている。

わんパトを知ってもらうため活動内容や、メンバーの愛大の写真入り広報誌を小学校、町会にご協力いただき地域に2000部配布している。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

昨年同様1年生の児童124名が犬たちと触れ合う授業への協力も行われ成果を得ることが出来た。6年生の有志によりバンダナを作ってもらうこともでき、全校朝会にてバンダナの贈呈式も行われた。給田小を中心とした活動を行っているため、今年度も117匹のメンバーに協力をしてもらうことが出来た。成城警察がボランティア活動に入ってくれるなど警察との連携も続いている。散歩中の声掛けは活性化され複数のメンバーの集まりで見守りを実施できていた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☑ その他（　給田小学校の授業協力で愛犬を通して児童と交流の輪が広がった。）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携・協力できた B　目標としていた程度に連携・協力できた C　目標としていた程、連携・協力できなかった B	1年生児童と犬たちが触れ合う授業協力の成果として子ども達からの声掛けが増え、メンバーと子供たちの距離が近くなり不審者侵入の抑止力になっていたと思う。また、6年生が逢ってくれたバンダナの贈呈式を全校朝会で行うなど、学校との連携も上手く行っている。わんわんパトロール便りの発行も活動を広く周知してもらいメンバーを増やした。給田小を中止とした活動を行っているので今年度も117匹のメンバーに協力してもらうことが出来た。成城警察がボランティア保険に入ってくれるなど警察と連携も続いているためメンバーも安心して活動に参加

№126

団体名

給田町会

補助金使用額

204,602円

補助事業に要した経費

790,009円

事業名称

第75回給田町会大運動会

内 容

給田町内にある給田小学校(給田4丁目=本年開催)と烏山小学校(給田1丁目)の児童と保護を中心に、地域住民、地域の高齢者とともに毎年スポーツの日(以前は、体育の日)に実施している。給田青穂会、給田婦人部、給田福寿会の協力のもと、給田西住宅自治会、給田南住宅自治会にも協力依頼をして、地域交流を促進する。また町会未加入者へも町会掲示板等へポスター掲示をして周知、給田小学校、烏山小学校児童には、チラシを配付して参加を呼びかける。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

昨年に続き、好天に恵まれ、校庭での開催となりました。給田青穂会をはじめ、婦人部、福寿会の皆様のご協力のもと、プログラムどおりに競技も消化され、地域の技能実習生の皆様、未就学児、小学生など役員、来賓等を含め500名以上の多くの皆様に参加頂き、充実した運動会となりました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

給田の青穂会の協力無しでは、運動会が成り立ちません。また給田婦人部、給田福寿会の協力も不可欠です。給田西住宅や給田南住宅の皆さんにも参加協力頂ければ、もっと地域色が豊かになると思います。

№127

団体名

桐の会

補助金使用額

245,000円

補助事業に要した経費

508,052円

事業名称

箏曲に親しむ第49回学校と地域をつなぐ”おこと”の演奏会

内 容

小･中･高等学校･地域の大学や町会、自治会等の活動団体の協力を得て第49回学校と地域をつなぐ”おこと”の演奏会を開催する事で出演者を含め、少子化、高齢化、国際化の進む地域を明るく活力のある”まちづくり”へと繋いでいく。伝統楽器と日常の楽曲がコラボレーションできるようにアナログ世代とデジタル世代が手を取り合い新しい文化創造の生まれる”まち”にしたい。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

日本女子体育大学新体操部は国の内外での選手権大会出場等の続く過密なスケジュールの中快く参加頂き、フェアリーの美しい演技に会場全体が魅了された。演奏会参加の高校生、大学生もテスト、部活の合間をぬっての合同練習参加でしたがホルン　草笛、ギター朗詠、コーラス等皆さまの協力により各演目　精一杯の成果をあげることが出来た。地域のゲスト出演者も早朝から待機フィナーレにも参加と熱心に取り組んでいただき、絆の強さ、深さを感じました。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

学校関係者、烏山区民センター運営協議会をはじめとする地域の皆さまのご支援にご協力を頂き、順調に進行、来場者から「今日は良かったわ本当にありがとう」「来年も楽しみにしています」との声掛けを頂く事が出来た。

№128

団体名

地域のきずな実行委員会

補助金使用額

240,773円

補助事業に要した経費

283,887円

事業名称

つなげよう地域の力！広げよう子どもの体験

内 容

節分は節分セット(福豆、鬼の面づくり、やいかがし)の配布です。やいかがしとは鬼の苦手の柊と焼いた鰯の頭をセットにしたものです。戸口に貼って、豆まきをして鬼が去り、再び入れないという縁起物です。当日は商店街の協力でスタンプラリーも催行。

ひな祭りは学校のピロティにひな人形を飾り、その見学と講師の講演(縄とびの歴史・世界の現状・何時でも・何時でも・何処でも1人でも道具がなくてもできる)と実技指導と講演です。数種の縄跳びを披露し、上達のコツや質問を受け、全員でエアー縄跳びの実習。最後に子ども達からひな祭りの大合唱そして全員手作りの雛人形とひなあられのセットをプレゼント交換です。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

令和7年度広報紙を回数を増して増刊それを見て賛同下さった方々がつながって連携し、今年度企画にはない新たなイベントを11月に共催できた。今年度企画にも参加して下さり、節分ではいつもの場所で数年ぶりに古民家の囲炉裏に火をおこし、オモチ焼きを復活し、庭先で紙芝居た絵本の読み聞かせも出来た。ひな祭りでも同様に縄跳び、絵本の読み聞かせや手遊びでにぎやかに遂行できた。

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☑ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

A

その理由

広報紙の回数を増やしたことで　新しい人や会とつながり、11月には連携した会と図書館と共催で予定外のお話し会を開催。節分とひな祭りの会でも協力して下さり、共催で行い今後も一緒に協力して下さることになり、活動の輪が広がった。

№129

団体名

チーム烏山音楽事業部

補助金使用額

236,228円

補助事業に要した経費

256,228円

事業名称

能登半島復興支援まちづくりミュージックホリデー

内 容

能登半島復興支援募金を募り、現地へ持参し、おまつり支援という形で現地によりそう。そのために音楽とお笑い、地域参加ののど自慢のイベントを行い、石川県羽咋郡志賀町とおまつりを通じた交流を行い、地域の防災対策に活用する。

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

上祖師谷自治会と連携し、出演者12名、入場者55名、能登地震復興募金28500円を集め現地へ寄付出来た。音楽を通じ烏山地域の交流を図ることが出来た。また石川県羽咋郡志賀町とおまつりを通じた交流を行い情報交換することで、烏山地域の防災対策に還元できた。

☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☑ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☑ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価

A　目標以上に連携･協力できた

B　目標としていた程度に連携･協力できた

C　目標としていた程、連携･協力できなかった

B

その理由

５年間継続してきたまちづくりと災害の復興支援事業が地域の理解が進みスタッフも意欲的に災害復興へ取り組めるようになった。

№130

団体名

ママ･クルー世田谷

補助金使用額

72,585円

補助事業に要した経費

74,275円

事業名称

子育て中のリラックス＆つながりフェア

内 容

子育てで孤立しがちなママたちに来てもらい、心地よい空間や機会を提供し、リラックスした時間を過ごしてもらうとともに、相談の機会などを提供し、ママ同士のつながりを作ってもらう。

以下のブースを用意し、いくつか回った人に「ママ･クルー」ステッカーをプレゼントし、まちでステッカーを貼っている人同士がつながれるきっかけをつくる。困った時に頼れる連絡先(保健師など)を知ってもらう。

ブースの例:おうちでもできるセルフケア、ハンドマッサージ、前髪カット、写真を撮ってもらう、お困りごとなんでも聞きます相談ブース、保健師さんによる相談ブース

(卒乳など)、子どもの栄養相談(野菜を食べない、背が伸びないなど)

事業評価

A　計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた

B　ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた

C　計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

A

その理由

来場してくださった方々から、忙しい日常で自分自身がリラックスできる、や人と話す機会があると気持ちが明るくなる、こんな素敵な企画があるなんて、嬉しかったなど感想をいただき、予想以上の反響をいただきました。

☐事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他（　　）

連携・協力・協働の評価	その理由
A　目標以上に連携･協力できた B　目標としていた程度に連携･協力できた C　目標としていた程、連携･協力できなかった B	団体としての活動が初めてだったため、連携のノウハウなどがない中、協力のお願いを快くお受けいただき、その結果、さまざまな所から来場してくださった方がいらしたこと。

№131

団体名

ユニバーサル
デザインスタンプラリー
実行委員会

補助金使用額

176,854円

補助事業に要した経費

189,328円

事業名称

第19回ユニバーサルデザインスタンプラリー

内 容

ユニバーサルデザインに関するイベントを開催する。ユニバーサルデザイン(人にやさしい)とはどういうことかについて、地域の小学生を中心に どなたでも気軽に楽しく体験でき、すぐに生かせるイベントにする。
(点字・介助犬・低床バス・車いす・ボッチャ・手話、アイマスク等の体験ブース・デフリンピック等々のテーマ別のブースを設営する。)

事業評価

A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた
B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた
C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった

B

その理由

・近年ますますブース企画が多岐に渡り、また様々な人が関わるようになってきた。・地域の中高生がボランティアで参加しつづブースも周ることで見識を広げる一助になれたのではないか

☑ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
☑ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
☑ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
☐ その他 (　　)

連携・協力・協働の評価

A 目標以上に連携・協力できた
B 目標としていた程度に連携・協力できた
C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

ブースの運営に関わった方々は行政・区民・学校・商店街・国の行政機関等々、多岐に渡り、互いに知り合い協力することができたため